

# 石巻市 生涯学習推進計画

＜平成29年度～38年度＞

\*\*\*自分づくりがまちづくり



学んで創ろう いしのまき\*\*\*

石 巻 市

平成29年度 策定

# 目 次

第1章	策定の前提～生涯学習基本構想の策定を踏まえて	1
	第2次推進計画策定にあたって	1
	石巻市が目指す生涯学習	1
	生涯学習施策の基本的な考え方	2
	総合計画との関連	2
	生涯学習施策の展開	3
	(1) 推進計画の目的	3
	(2) 推進計画の位置付け	3
	(3) 計画の構成	3
	(4) 計画期間	4
	(5) 計画の推進	4
第2章	計画の到達目標と実現ステップ	5
	(1) 計画の到達目標(将来の姿)	5
	(2) 実現ステップ	6
	到達目標1	6
	到達目標2	7
	到達目標3	9
第3章	施策の体系	11
	大項目1 市民の主体的な学習活動に向けた条件整備	12
	大項目2 ライフステージに応じた学習への支援	20
	大項目3 ライフスタイルに応じた学習への支援	27
	大項目4 「地域に学び、地域に生かす」仕組みの整備	33
	大項目5 市民、学校、学習団体との連携・協力による学習機会の提供	38
	大項目6 協働による生涯学習推進体制の再構築	40
第4章	新たな取り組み	43
	1 石巻市民大学「まなび舎」	44
	2 (仮称) 地域づくり学習センター	46
	3 いしのまき人財・地域創生会議 (新たな仕組み 設置想定プロセス)	49 51
資料編		
	1 石巻市生涯学習推進計画(図)	54

## 第1章 策定の前提～生涯学習基本構想の策定を踏まえて

市では、平成18年8月に「石巻市生涯学習基本構想」（以下、基本構想）を策定しました。

基本構想では、市の生涯学習推進における現状と課題を踏まえ、市が目指す市民と行政の協働による2つの生涯学習の姿と施策推進の基本的な考え方を明らかにするとともに、その実現に向けた6つの施策展開の方針を定めました。

石巻市生涯学習推進計画（以下、「推進計画」という。）は、基本構想の実現に向け、生涯学習推進のための具体的展開を図ろうとするものです。

### 第2次推進計画策定にあたって

市では、平成20年12月に「石巻市生涯学習推進計画」を策定し、市民の生涯学習活動の充実に向けた環境整備に努めてきました。

策定から8年余りが経過し、生涯学習に関する環境も大きく変化してきています。少子高齢化や社会情勢、生活環境やライフスタイルの変化に伴い、人々の学習要求も多様化、高度化しており、自治体や民間企業による学習の機会も大幅に増えてきているとともに、地方分権の流れの中で市民参加によるまちづくりを推進するための機会や場の整備が必要とされています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、本市は被災地でも最大規模の被害を受け、これまで築き上げてきた多くの財産も失いました。沿岸部では人口が流出し、コミュニティの維持が困難になりました。

第2次推進計画では、基本構想の「自分づくりがまちづくり 学んで創ろう いしのみき」という理念を受け継ぎながら、市民一人ひとりが生涯学習の主役であり、自己実現のためだけでなく、地域の発展のために積極的に学びあう“自分づくり”につながる学習環境を整備することとします。また、豊かな学び合いを通じて、子どもから高齢者まで互いにふれあい、助け合いながら生活するとともに、地域の課題解決に向けて市民が自ら行動し、ずっと住みたいと思うことができる魅力的な“地域づくり”へとつながる生涯学習を推進するため本計画を策定します。

### 石巻市が目指す生涯学習（基本構想）

#### <市民と行政の協働による生涯学習の推進>

一人ひとりの市民、地域の団体、学校、企業、NPO、行政などがパートナーシップの関係の下、それぞれの役割を果たしながら、枠組みを超えて、相互理解と目的の共有化による新たな仕組みづくりを行います。

#### ○ 市民が主体的に学習活動を行う生涯学習

市民一人ひとりが生きがいのある豊かな生活を送るため、「いつでも・どこでも・だれでも」生きいきと主体的に学び、学びあえる学習社会を目指します。

#### ○ 豊かな地域社会の形成に生かすことができる生涯学習

市民一人ひとりが、学習活動を通して主体的に地域活動や行政への参画ができ、その学習の成果や経験を地域社会の実現に生かしていくことができる「地域に学び、地域に生かす」学習社会を目指します。

### 生涯学習施策の基本的な考え方（基本構想）

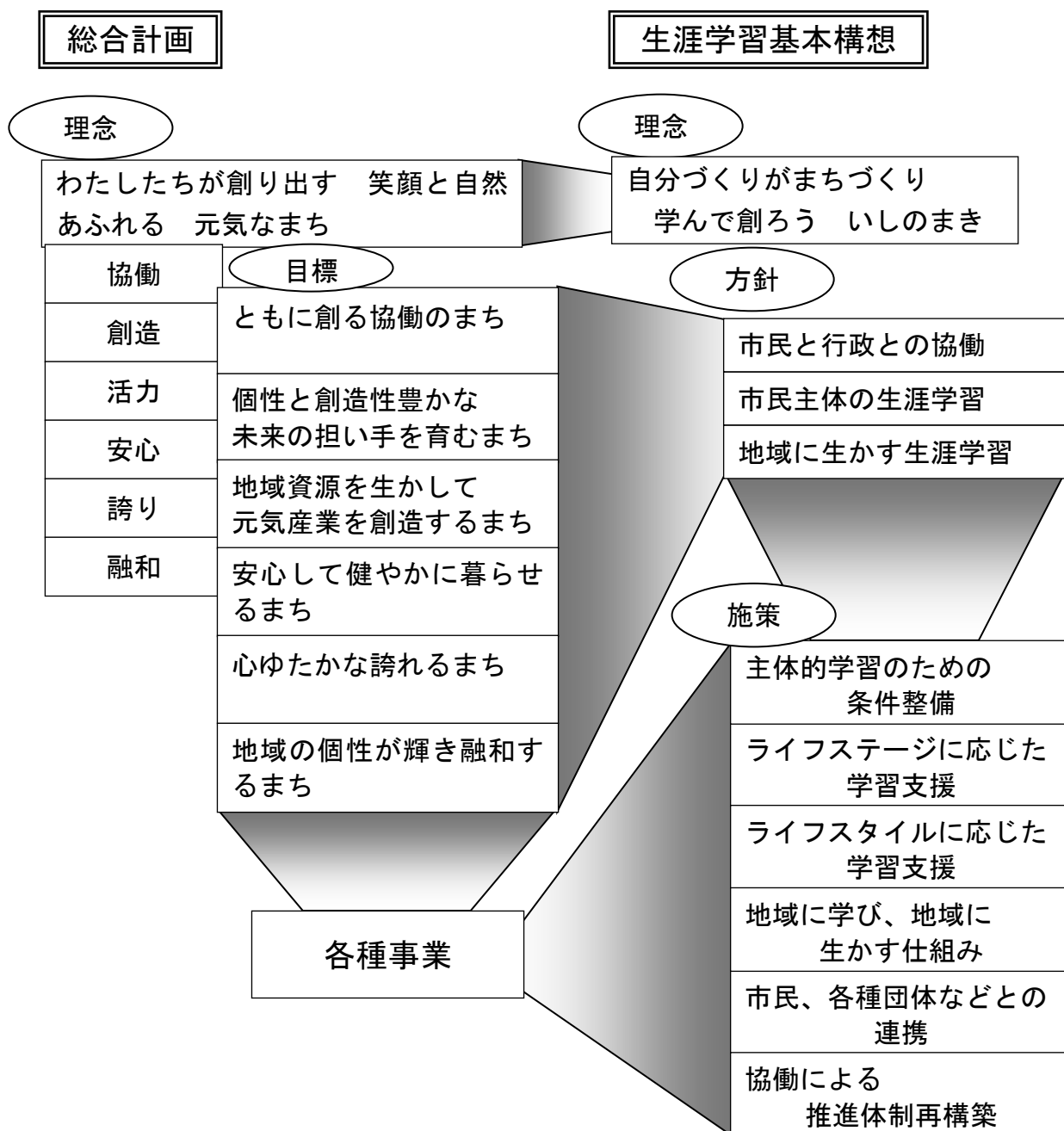
○ 市民の主体的な学習活動を支援します

市は、自らの役割を明らかにするとともに、様々な分野で活躍する人材、学習団体などの連携を推進し、誰もが自らの意思により自由に学習活動を行っていきけるよう必要な支援を行っていきます。

○ 市民の学習活動を通じた地域社会づくりを支援します

市は、より豊かな地域社会を形成していくために、市民の交流を通して、市民が学習活動で培った知識・経験とそれを必要とする人が連携し、共に活動していくことを支援していきます。

### 総合計画との関連



## 生涯学習施策の展開（基本構想）

- 1 市民が主体的に学習活動を行なうことができるよう条件整備を行います。
- 2 ライフステージ(人生の各段階)に応じた学習要望に応じていきます。
- 3 ライフスタイル（生活様式）に応じた学習要望に応じていきます。
- 4 「地域に学び、地域に生かす」仕組みを整備していきます。
- 5 市民、学習団体、学校などと行政との連携・協力により多様な学習の機会を提供していきます。
- 6 協働による生涯学習推進体制を再構築します。

### (1) 推進計画の目的

推進計画は、基本構想に基づき、市が目指す生涯学習の段階的な実現に向け、計画期間中に達成すべき市の生涯学習の姿とその実現に向けたより重点的に取り組むべき施策を明らかにします。

さらに、基本構想が定める生涯学習施策の展開方針ごとの現状・課題とその解決に向けた推進方針を体系的に示し、生涯学習推進事業を展開していく上での具体的な方向を明らかにします。

以上により、市民への説明責任を果たし、市民との協働により施策を総合的に推進し、市が目指す生涯学習を実現していくことを目的とします。

### (2) 推進計画の位置付け

- ① 推進計画は、基本構想の具体化に向けた市の生涯学習関連施策・事業に関する総合的な計画です。
- ② 推進計画は、市で策定される諸計画との整合が図られたものとします。また、計画の推進に当たっても、それらの計画との調整に留意します。
- ③ 推進計画では、個々の生涯学習事業について、現在行われている事業及び今後行う必要があると認められる事業を掲げました。しかし、それらの個々の事業について、今後の実施年度、実施規模、必要財源などについては示していません。これは、市民の学習要望が多様化する状況の中、個々の事業の展開は、その時々々の生涯学習環境に柔軟に対応し、随時見直しを行いながら、推進状況に合わせ実施していくことが、より効果的であると考えるからです。

### (3) 計画の構成

#### ① 到達目標と目標達成手順の設定

市が目指す生涯学習の推進・実現には、施策を推進していく方向性や重点事項を明らかにするとともに、常に推進状況を把握・評価し、施策に反映させていくことが必要と

なります。そのため、推進計画では、計画期間中に達成すべき市の生涯学習の姿を到達目標として設定します。

そして、到達目標の達成に向けた推進手順を実現ステップとして設定します。さらに、個々の実現ステップの中で推進していく施策・事業を重点項目として示します。

## ② 生涯学習施策の体系化

市が目指す生涯学習と到達目標の実現に向けては、市の生涯学習をめぐる現状、課題を踏まえ、個々の施策・事業を総合的・効果的に推進していく必要があります。

このことから、教育、保健福祉、環境、人権など様々な分野で行われている施策を“生涯学習の推進”という切り口で体系化することにより、市の生涯学習関連施策の全体像を明らかにするとともに、生涯学習施策・事業の展開の方針を示します。

## ③ 生涯学習事業の具体化と到達目標の設定

市、各種団体が今後おおむね10年間で実施しようとしている事業を分類、体系化し、各事業における到達目標を設定します。推進計画で達成すべき目標の各事業における個別の評価指標となるものです。

# (4) 計画期間

推進計画の期間は、5年間を一区切りとし、石巻市総合計画実施計画及び石巻市教育振興基本計画の計画期間との整合性を考慮し、平成38年度までとします。ただし、期間内に市総合計画及び生涯学習基本構想の改訂が行われた場合、または生涯学習をめぐる状況が著しく変化した場合は、必要に応じて見直しを行います。

# (5) 計画の推進

- ① 推進計画は、いしのまき人財・地域創生会議をはじめ、市民、学校、企業、NPOなど様々な個人・団体との連携・協力のもとに推進していきます。
- ② 市は、生涯学習施策の実施状況を毎年把握し、到達目標と実施状況とを比較するなど多様な方法で評価を行います。そして、いしのまき人財・地域創生会議等で寄せられた意見や要望を踏まえながら、状況の変化に適切に対応した事業を実施していきます。
- ③ 「石巻市総合計画・基本計画・実施計画」をはじめ、関連計画である「石巻市スポーツ振興基本計画」、「石巻市文化芸術振興基本方針」、「石巻市教育振興基本計画」と相互補完しながら、生涯学習の基盤づくりを進めていきます。
- ④ 東日本大震災により、市は甚大な被害を受けました。地域住民が分散したり、コミュニティ組織、施設が機能できない地域も多くありました。こうした中、市民と行政が協働し、コミュニティの再生、学習の場の提供に力を注いできました。市では石巻市民大学「まなび舎」を開校し広く講座を公募しながら、市民の要望に応え、身近な場所で学習できる場を提供していきます。

## 第2章 計画の到達目標と実現ステップ

### (1) 計画の到達目標（将来の姿）

基本構想が定める“石巻市が目指す生涯学習”の実現に向け、推進計画の中で到達目標として設定します。

#### 到達目標1

**学習情報や機会が多様な形で提供されている。**

“市が目指す生涯学習”の1点目、「市民が主体的に学習活動を行う生涯学習」の実現に向けては、特に、市民の学習要望が多様化している状況を踏まえ、市民が様々な方法により、学習情報や学習機会に接していくことができる状況を実現することを到達目標としました。

#### 到達目標2

**学習社会が地域で確立されている。**

“市が目指す生涯学習”の2点目、「豊かな地域社会の形成に生かすことができる生涯学習」の実現に向けては、今後、さらに地域での生涯学習活動が活発に展開されていく状況を踏まえ、地域が主体的に学習活動を通して身近な課題を解決していく地域社会づくりへの道筋をつくることを到達目標と設定しました。

#### 到達目標3

**市民との協働による生涯学習推進体制の基盤が確立されている。**

到達目標1、2の実現に向けては、今後、より一層市民をはじめ、様々な個人・団体とのパートナーシップによる連携、協力が重要となります。そのため、市民、生涯学習関係団体との協働の体制をより強いものとするを到達目標としました。



## (2) 実現ステップ

個々の到達目標を達成していく推進手順を実現ステップとして設定します。実現ステップは、それぞれの到達目標ごとにステップ1、ステップ2という2段階で設定しています。また個々のステップで行う必要がある具体的な施策・事業を重点項目として設定しました。

ステップ1は、到達目標を達成していく上での基礎段階として設定しました。また、ステップ2は、ステップ1の結果を踏まえ、到達目標実現に向け、より積極的かつ効果的に施策を展開していく段階となっています。

このように、到達目標の実現は、基礎段階を経て、その結果を踏まえた実施というプロセスを想定しています。しかし、実際の施策展開に当たっては、ステップ1とステップ2が同時に行われる場合もあると考えます。

### 到達目標1

#### 学習情報や機会が多様な形で提供されている。

ライフスタイルの多様化や生活環境の変化を背景にして、市民の学習要望や関心は、従来の趣味的な活動のほかに、新たに地域や環境、また、個人のキャリア開発など幅広い分野に広がるとともに、より高度に自分の生活様式に合ったものを望むなど、多様なものとなっています。

しかし、その一方では、望んでいる学習が提供されていなかったり、様々な要因で学習のきっかけがつかめなかったりする人もいます。

このような状況の解決に向け、市は、市民の学習活動を阻害している要因の除去や学習活動へのきっかけづくりを通して、市民の学習活動の視野を広げていきます。それとともに、生涯学習活動を行っている個人や団体との連携をはじめ、様々な学習資源との連携・協力により多様な学習情報や学習機会を提供し、多くの市民が主体的に様々な学習活動を行っていくことができる生涯学習社会を実現します。

### 実現ステップ

#### ステップ1

##### 多様な学習情報・機会の提供に向けた条件整備を進めます。

多様化する市民の学習要望に応じていくには、多様な学習情報や学習の機会が提供されていることが必要です。そのためには、学習を提供する側は、互いに連携・協力して、それぞれの役割を果たしていくことが今後更に必要となります。

このことから、到達目標1の実現に向けた最初のステップとして、市は、様々な個人・団体との連携・協力に向けた関係強化や情報のネットワーク化について取り組むなど、多様な学習情報・機会の提供に向けた条件整備を行っていきます。



**ステップ1の重点項目**

- 市民への生涯学習情報提供の充実（ホームページの充実）
- 大学・学校、団体などとの連携・協力による学習機会の提供に向けた協議の実施
- 石巻市民大学「まなび舎」の設立

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
生涯学習情報提供	生涯学習に関係する人材・団体情報の提供	リスト登録数	生涯学習課

**ステップ2**

**様々な学習資源との連携・協力により多様な学習情報・機会を提供していきます。**

ステップ1を踏まえ、様々な個人・団体とともに市民に多様な学習情報や機会を提供し、市民が主体的に行う学習活動を支援していきます。

**ステップ2の重点項目**

- 大学・学校、団体などとの連携・協力による学習事業の展開（石巻市民大学「まなび舎」事業の充実）
- 生涯学習情報に関するネットワークの確立（関連施設・関連事業の情報化）
- 石巻市民大学「まなび舎」の規模拡大（広域化・多様化・インターネット部門の開始）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
石巻市民大学「まなび舎」	指導者、受講生ともに公募による市民主体の講座	開設講座数	生涯学習課

**到達目標2**

**学習社会が地域で確立されている。**

東日本大震災により、町内会や行政区が機能していない地区や被害が大きい地区などコミュニティ活動が困難となっている地区が多数あります。また、集会所やコミュニティセンター等多数のコミュニティ施設も被災し、使用不能となりました。このような状況を踏まえ、コミュニティの再生を図り、地域の集会所等を活用しながら学習の場を提供していきます。

震災後、地域や行政は、健康づくり、環境問題、学校教育における家庭、地域との連携などをはじめ、様々な課題に直面してきました。そして、今日、地域にはそのような課題に主体的に取り組む人々が生まれ、積極的に活動を行う市民も目立つようになりました。このような活動を行う市民の中には、活動の成果を積極的に地域や人々に提供していきたいと思う人も多くいます。

市は、このような状況を踏まえ、学習活動を行う人が積極的に地域に参画することにより、学習活動の成果が地域に還元され、多様で豊かな地域づくりにつなげていくことができる“地域に学び、地域に生かす”学習社会の確立を目指します。

## 実現ステップ

### ステップ1

#### 地域の学習「仲間」づくりを支援します。

地域の課題を市民の学習活動を通して解決していくことができる社会の実現に向けては、幅広い人たちが共に学習活動を行っていくことが、より重要となります。このことから、市は、市民の自主性・自立性を尊重しつつ、共に学び合い、活動していく地域の学習の「仲間」づくりを支援し、“地域をつくる学び合い”実現への条件整備を行っていきます。

#### ステップ1の重点項目

- 地域での交流の機会と場の充実
- 地域の人材との積極的な連携・協力
- 地域と学習実践者・団体との連携のあり方についての検討

#### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
利用団体交流会	施設利用をしている団体の交流の場をつくる	実施施設数	生涯学習課

### ステップ2

#### 学習「仲間」が共に学び、その成果を生かすネットワークづくりを支援します。

様々な学習活動の成果を生かして地域の課題が解決していけるよう、様々な個人・団体が自由につながることができるシステムを確立していきます。

#### ステップ2の重点項目

- 学習活動を通じた世代間交流の促進
- 学習「仲間」の連携と機会の整備
- 地域を基盤とする活動との連携の充実
- 施設ボランティアの育成（各施設・生涯学習課）

#### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
(仮称)地域づくり学習センター設置	公民館機能を生かした地域づくりの拠点整備	設置箇所数	各公民館 生涯学習課

**到達目標3**

**市民との協働による生涯学習推進体制の基盤が確立されている。**

市民の学習要望が多様化する中、到達目標を達成していくには、市は、これまで以上に様々な個人や団体との連携・協力のもとに生涯学習の推進を図っていく必要があります。

このことから、市は、市民や団体の生涯学習施策への参画の機会の充実を図るとともに、新たに、学校、ボランティアなどとの連携・協力体制を確立します。そして、様々な個人・団体とともに生涯学習を推進していく仕組みを整備し、確固なものにしていきます。

**実現ステップ****ステップ1**

**学習者・生涯学習関係団体相互の広範なネットワークづくりを支援します。**

個々の学習者や生涯学習関係団体の力がより大きく発揮され、充実した生涯学習活動が行われていけるよう、個人や生涯学習関係団体相互の交流や連携の機会を支援していきます。

**ステップ1の重点項目**

- 学習者の情報交換、協議の機会の整備
- より積極的な生涯学習関連施策の実施状況の公開
- 個々の生涯学習事業への企画、実施、評価段階への市民や生涯学習関係団体の参画・機会の拡充

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
生涯学習ホームページ管理	生涯学習ホームページでの推進状況公開	更新回数	生涯学習課

**ステップ2**

**市民、生涯学習関係団体との連携・協力により生涯学習施策を推進していきます。**

市民、ボランティアなど様々な個人・団体を生涯学習施策推進のパートナーとして、連携・協力のもと、生涯学習施策を総合的に推進していきます。

**ステップ2の重点項目**

- 生涯学習関連施策の「企画・実施・評価」過程での積極的な情報公開と交流
- 市民が参画する推進組織の充実と行政側の推進体制との連携強化
- 様々な市民・団体との連携・協力体制の整備、推進

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	担当課等
いしのまき人財・地域創生会議の運営	生涯学習推進に向けた仕組みを構築しながら、地域に活力を与える人材の育成を図るとともに、市民一人ひとりが誇りを持てる地域づくりを推進する。	参加者数	生涯学習課

## 第3章 施策の体系

石巻市が目指す生涯学習と到達目標の円滑な実現に向け、市が取り組むべき生涯学習関係施策・事業の全体像と実施方針を明らかにすることを目的として生涯学習関連施策の体系化を行います。施策体系は、次の3段階で分類します。

### (1) 大項目の設定

基本構想が定める6つの生涯学習施策展開の方針をもとに施策の体系を大項目として設定し、それぞれの現状と課題を明らかにします。

### (2) 中項目の設定

個々の大項目を更に課題別に分類したものを中項目として設定し、解決への方向性を示します。

### (3) 小項目の設定

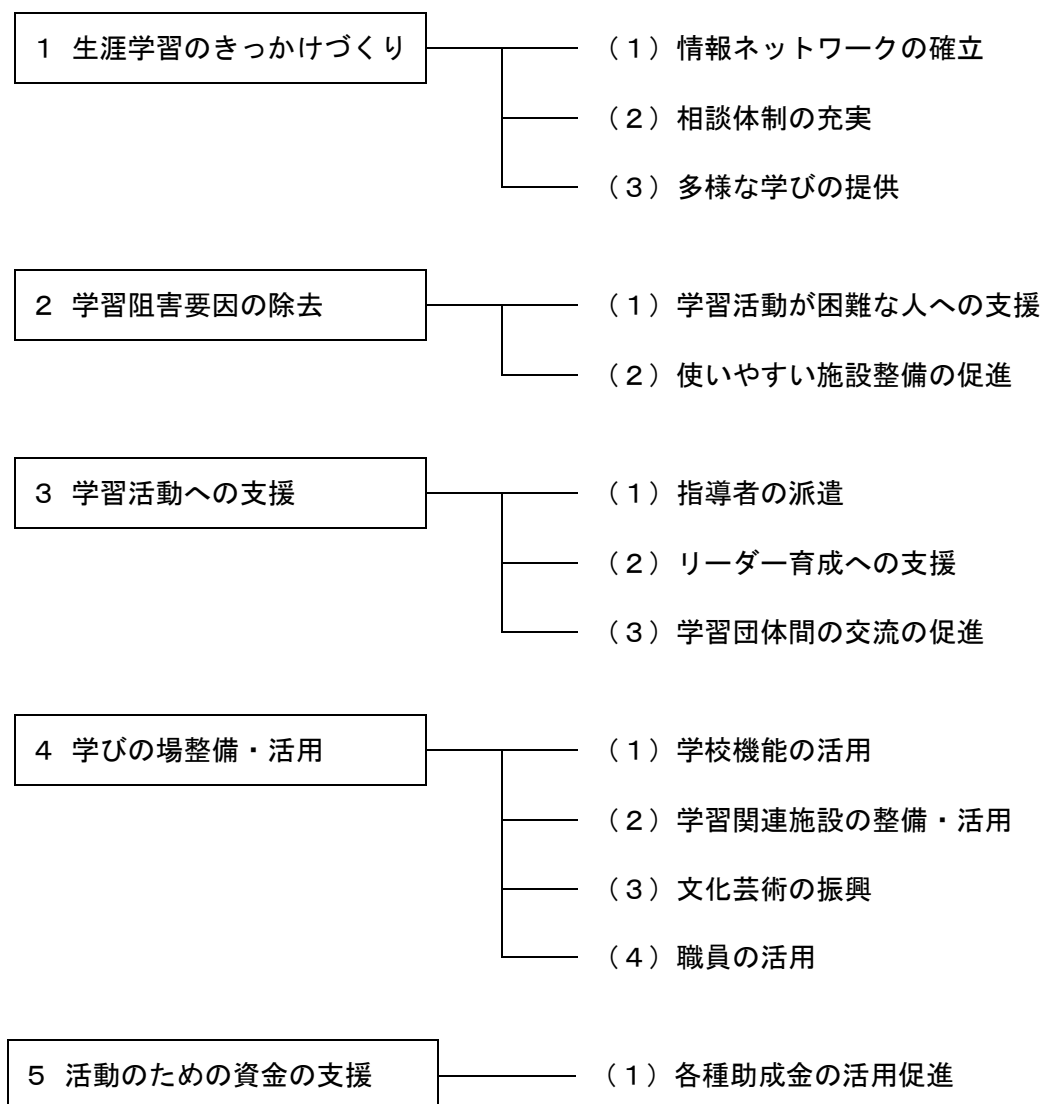
個々の中項目を実現していくためのより具体的な施策を小項目として設定します。そして、各部局が実施する具体的な施策・事業は、個々の小項目ごとに分類されます。

なお、各部局などが実施する具体的な施策・事業は、次のとおりとしました。

- 平成28年度の時点で実施されている主な施策・事業
- 平成28年度の時点では、実施されていないが、小項目を実現していく上で、今後実施していく必要があると想定される施策・事業。なお、これについては、“(新)”と表示しました。
- 組織名は、該当の施策・事業を担当している組織名としました。
- 主に行政主体の取組を●で、主に市民主体の取組を○、協働による取組を☆で分類して表示しました。

※「主な施策・事業」は、予算事業名にこだわらず、今後の生涯学習推進の方向性を示すために、様々なレベルで表示されています。

## 大項目1 市民の主体的な学習活動に向けた条件整備



### 施策展開の方針（基本構想）

“生涯学習の主体は市民である”との視点に立ち、活力ある生涯学習社会実現に向けた様々な条件整備を行い、市民の自主的・自発的な学習活動を支援していきます。

### 現状と課題

「生涯学習」とは、学習者自らが、自分の意思に基づき、自己に適した手段・方法を選んで生涯を通して行う学習活動と定義されます。

しかし、市民の自主的な学習活動の前には、様々な阻害要因が待ち構えています。また、生涯学習活動に出合うきっかけがないために、学習活動を行っていない人も多くいます。さらに、学習活動を行っている人の中には、思うように活動のステップアップを行っていない人もいます。

市は、このような状況を踏まえ、市民がいつでも・どこでも・だれでも学び、学び合い、生きがいを持って健康で豊かな生活を過ごしていけるよう、様々な条件整備を行っていく必要があります。具体的には、学習機会の提供や、施設の活用促進など、特にソフト面の条件整備を行う必要があります。また、様々な事業により思うように学習活動ができない人に対しては、その原因の除去を引き続き行っていく必要があります。

さらに、情報機器の積極的な活用など、新たな手段も視野に入れた仕組みにより、市民が生涯学習活動に出合う機会を充実させていくことも必要です。

## 施策の方向、該当施策・事業

### 中項目1 生涯学習のきっかけづくり

市民が学習活動を行っていく契機となるよう、学習情報の提供や相談体制を整備します。また、生涯学習活動への導入となる入門講座を実施していきます。

#### (1) 情報ネットワークの確立

様々な個人や団体、市が多様な生涯学習情報を入手し交換できるよう、多様な手段による情報の収集・提供体制を整備していきます。そのために、個人や団体に対して生涯学習情報の提供を呼びかけていきます。

なお、情報の収集・提供には、今後、情報通信技術の活用を視野に入れる必要がありますが、この場合、様々な事情で情報機器の操作が困難な状況にある市民への配慮を十分行い、収集・提供できる情報に格差が生じないように努めます。

#### 主な施策・事業

- 市報による生涯学習情報の提供（生涯学習課）
  - 公民館・施設だよりなどによる生涯学習情報の提供（各公民館・関係施設）
  - インターネット（ホームページ）を活用した情報提供体制の整備（生涯学習課）
- ☆生涯学習関係施設・事業・団体・サークルなどの広報誌、ホームページによる情報の提供（関係施設、関係団体など）

#### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ホームページ運用	市ホームページによる生涯学習情報の提供	情報更新数	5回	6回	6回	生涯学習課

#### (2) 相談体制の充実

市民の自主的な学習活動の支援に向け、学習活動への疑問・不明点に対し適切な助言を行えるよう相談体制の充実を図ります。

特に各相談窓口での相談が同じ水準で行われるよう、相談窓口間での学習情報の共有化を図るとともに、相談担当職員の専門性の向上に努めていきます。

**主な施策・事業**

- ☆学習相談体制の充実（生涯学習課、各公民館）
- 歴史・文化財相談体制の整備（生涯学習課）
- 図書館調査・相談の充実（図書館・図書館分館）
- 各種健康相談の充実（健康推進課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
学習相談体制の 充実	公民館利用協議団体 との意見交換	市民会議の 開催	6回	6回	6回	生涯学習課 各公民館

**(3) 多様な学びの提供**

市民や地域、関係団体との連携・協力により、石巻市民大学「まなび舎」の講座をはじめとする様々な生涯学習関係施設で実施する講座を通し、市民に学習活動へのきっかけを提供していきます。

講座の実施に当たっては、企画段階から市民に参画いただき、実施方法も参加者が自由な話し合いや交流の中で主体的に実施していける形態を取り入れていきます。

**主な施策・事業**

- ☆多様な内容の講座の開講（生涯学習課、石巻市民大学「まなび舎」、各公民館、石巻専修大学、）
- ☆市民講師・市民団体による教室・講習会の実施（生涯学習課、石巻市民大学「まなび舎」、NPO）
- ☆地域のスポーツ、レクリエーション活動の推進（体育振興課、各公民館）
- 図書館資料の整備・充実（図書館・図書館分館）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
石巻市民大学 「まなび舎」	指導者、受講生ともに 公募による市民主体 の講座	開設講座数	146回	150回	150回	生涯学習課

**中項目2 学習阻害要因の除去**

生涯学習活動を行う市民が増える中、すべての人が安全に安心して学習を行える環境の整備が重要となります。市は学習環境の特にソフト面の充実を図り、自由に学習できる生涯学習を実現していきます。



## (1) 学習活動が困難な人への支援

子育て中の市民のためのボランティア保育付き講座の検討や夜間講座の実施、障害を持つ人への支援など、市民と行政の協働による支援活動を組織していきます。

## 主な施策・事業

- 一時保育の充実（子ども保育課）
- ☆夜間の学習講座の充実（生涯学習課、各公民館、関係施設）
- ☆手話通訳者の派遣（障害福祉課・社会福祉協議会）
- ☆図書館の障害者サービスの充実（図書館・図書館分館）
- ☆託児付き各種講座の充実（生涯学習課、公民館、子育て支援課）（新）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ファミリーサポート事業	利用・協力会員として登録し、相互の信頼関係のもとに、託児サービスを実施	会員数	249人	300人	400人	子育て支援課

## (2) 使いやすい施設整備の促進

すべての人が自由に学習活動を行っていただけるよう、市は、市民の立場に立って学習環境の整備を行っていきます。

また、各施設のバリアフリー化に向けた推進も行っていきます。

## 主な施策・事業

- 市立施設への使用申請の簡素化（関係施設・生涯学習課）
- 放送大学の活用促進（生涯学習課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
放送大学の受講促進	放送大学の広報を支援し活用促進を図る	市内受講者数	78人	90人	100人	生涯学習課

## 中項目3 学習活動への支援

市民の学習活動がより主体的に行われるよう、学習団体への指導者の派遣や学習団体のリーダーの育成を支援していきます。また、学習団体交流を促進することによる各団体間の連携強化を図り、市民が主体となって活動する生涯学習環境を構築していきます。

**(1) 指導者の派遣**

市民への充実した学習活動の支援に向け、指導者の育成・確保に努め、学習団体への派遣体制の充実を図ります。

**主な施策・事業**

- ☆人材登録指導者の派遣（生涯学習課）
- 人材登録指導者リストの更新（生涯学習課）
- 出前講座による職員の派遣（各担当課・生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
出前講座運営事業	行政分野を市民が理解するための各種講座	講座利用数	96件	100件	150件	生涯学習課 各公民館

**(2) リーダー育成への支援**

研修会への参加助成や研修会の開催などを通して、学習団体のリーダー育成を支援していきます。

**主な施策・事業**

- 県生涯学習支援者養成事業への参加推進（生涯学習課）
- 生涯学習リーダー研修の実施（生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
生涯学習リーダー養成研修	人材育成講座の開催	参加者累計	195人	200人	300人	生涯学習課

**(3) 学習団体間の交流の促進**

市民の学習活動活性化を目指し、団体間の交流機会の充実に努めます。同じようなテーマの課題に取り組んでいる団体や同じ施設で活動するテーマの異なる団体との交流も深めていきます。

**主な施策・事業**

- ☆施設ごとの交流スペースの開設と運営（関係施設）
- ☆施設利用団体交流会の実施（関係施設）
- ☆いしのまき人財・地域創生会議ホームページの開設（生涯学習課、いしのまき人財・地域創生会議）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
利用団体交流会	施設利用をしている団体の交流の場をつくる	公民館利用協の市民会議への参加	24%	100%	100%	生涯学習課

## 中項目4 学びの場整備・活用

生涯学習施設や職員の活用を通して、市民の学習活動を支援していきます。さらに、文化・芸術については、平成14年度に示された国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針」に基づき、文化・芸術振興に関する計画を推進するなど、積極的に取り組んでいきます。

## (1) 学校機能の活用

市立小・中学校の地域への開放を推進していきます。

具体的には、校庭、体育館のほかに特別教室の開放も進めていきます。また、学校と地域、協働での学習機会を提供、推進していきます。

## 主な施策・事業

☆市立学校の体育施設の開放（体育振興課）

☆学校、地域との協働学習の提供（生涯学習課、学校教育課）（新）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
市立学校の体育施設の開放	市立学校の体育施設の開放	登録施設数	24施設	24施設	24施設	体育振興課

## (2) 学習関連施設の整備・活用

生涯学習関係施設、スポーツ・レクリエーション施設、図書館などの生涯学習施設の整備・運営に当たっては、身近な学習拠点となるよう利用者懇談会などを通して市民の要望の把握とその反映に努め、市民の施設運営参画を図ります。

## 主な施策・事業

☆公民館・生涯学習施設の協働による運営・市民参加の推進（関係施設）

☆総合体育館・運動公園などの運営への市民参加（体育振興課）

☆市立図書館運営への市民参加（図書館・図書館分館）

☆NPO支援オフィスの運営（地域協働課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
施設運営の協働 推進	市民の施設運営にかか わる参画度を高める	協働実践施設 数	6施設	7施設	8施設	各施設

## (3) 文化芸術の振興

国の「文化芸術の振興に関する基本的な方針」及び石巻市文化芸術振興基本方針に基づき石巻市の文化芸術の総合的な振興を実現していきます。具体的には、公益財団法人石巻市芸術文化振興財団並びに石巻市文化協会がそれぞれ役割を明確にし、連携していくことと、市民やこれらの団体、NPO法人等が各々の特性を生かして協働し、活動の支援や、芸術鑑賞機会の提供などを行います。そして文化芸術活動に関わるネットワークの構築を図り、文化芸術の振興の推進体制を整備していきます。

文化施設の運営については、指定管理者制度を活用し、市民からの意見・要望の把握に努めるとともに、その意向をできるだけ反映していきます。

## 主な施策・事業

- ☆石巻市文化芸術基本方針の推進（生涯学習課・複合文化施設開設準備室）
- ☆石巻市美術展（生涯学習課・複合文化施設開設準備室・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団）
- ☆文化芸術団体の育成事業（生涯学習課・複合文化施設開設準備室）
- 文化芸術鑑賞事業（生涯学習課・複合文化施設開設準備室）
- 歴史文化資料展示施設整備事業（生涯学習課・複合文化施設開設準備室）
- 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団への支援（生涯学習課・複合文化施設開設準備室）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
文化芸術団体の 育成	文化芸術振興のため の団体育成	文化協会へ の加入団体	168団体	180団体	200団体	生涯学習課 複合文化施設 開設準備室

## (4) 職員の活用

市の職員を生涯学習推進の人的資源と位置付け、「石巻市出前講座」の積極的な活用を市民に呼びかけていきます。また、職員に対しては、市民としての社会参加を自らの特技活用という面で求めています。このことで、職員と市民との連携・協力に向けた啓発の機会としていきます。

### 主な施策・事業

- 「石巻市出前講座」の運営（生涯学習課・各担当課）
- 市職員・学校職員の特技指導者登録推進と出前講座の充実（生涯学習課）

### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
石巻市出前講座	「石巻市出前講座」 の運営	提供講座数	112 講座	130 講座	150 講座	生涯学習課

## 中項目5 活動のための資金の支援

市民が団体学習の活動を積極的に行っていく契機となるよう、また、生涯学習関係団体の学習講座を充実していくために、団体の事業実施に対する助成金活用の充実に努めていきます。

### (1) 各種助成金の活用促進

市が行っている「地域づくり基金事業助成金」の活用をはじめ、県、財団などが行っている各種助成を効果的に活用していくための広報、講習会を実施していきます。

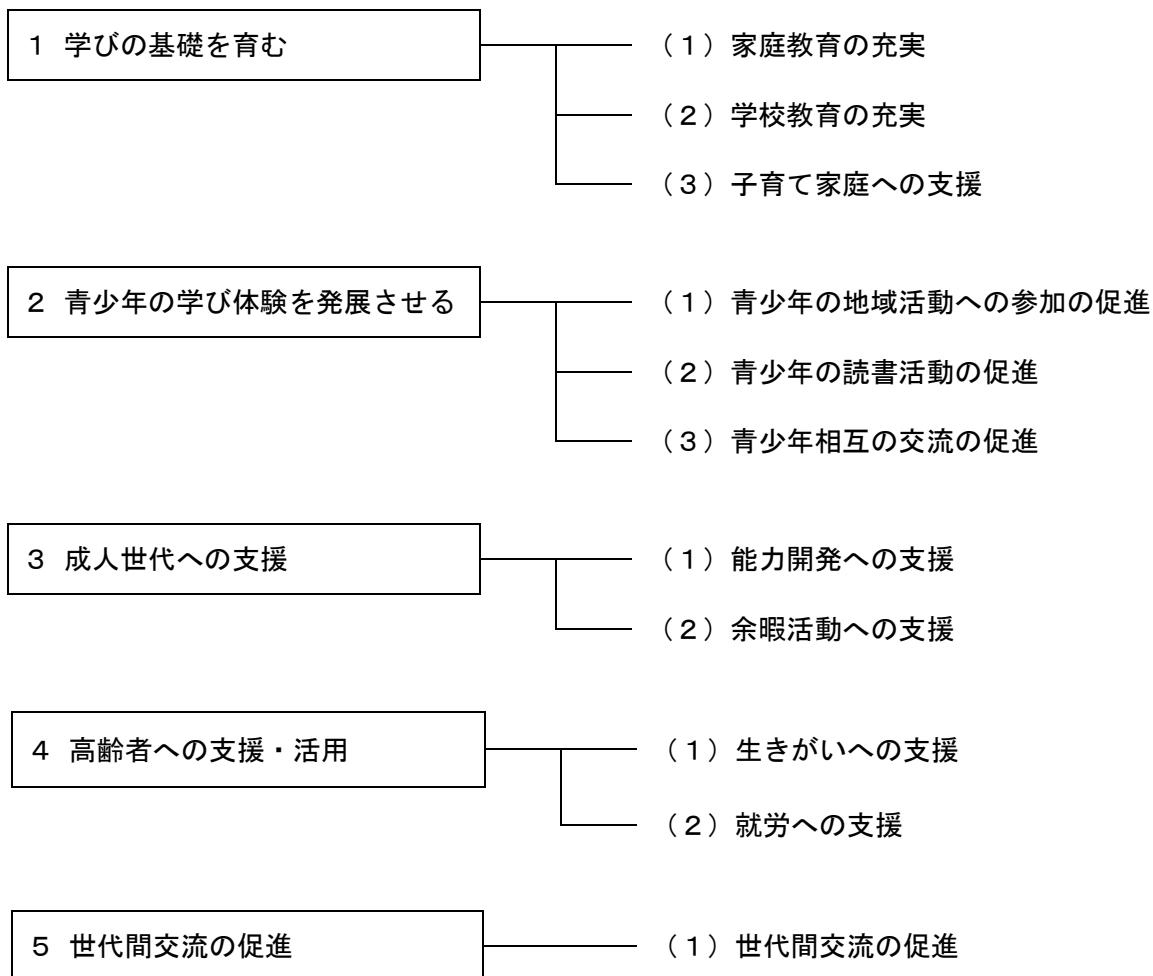
### 主な施策・事業

- 「地域づくり基金事業助成金」の交付（地域協働課）
- ☆ 各種活動助成申請講習会の開催（生涯学習課・NPO）

### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
活動助成申請講習会	NPO活動等の助成金を活用するための申請に関する講習	参加個人数	検討	10 人	30 人	生涯学習課 NPO

## 大項目2 ライフステージに応じた学習への支援



### 施策展開の方針（基本構想）

長寿社会となった現在、人々が生涯にわたり生きがいを持って活躍できる社会を築いて行くことは時代の要請です。このことから、市民の生涯を通しての学習活動を支援していくという視点に立ち、幼・少年期、青年期、高齢期など人生の段階ごとの市民の学習要望に応えていきます。

### 現状と課題

人生を健康で楽しく、豊かに過ごすには、多様で自発的な学習活動を展開することが大切だという立場に立ち、幼・少年期、青年期、高齢期など、ライフステージに応じた生涯学習機会・支援体制の充実を図ることが重要です。

例を挙げると、学校教育においては、新学習指導要領が検討される中、新しい時代にふさわしい教育を実現していくことが求められています。

また、成人層にとっては、産業構造の変化を背景に日本型雇用形態が変化する中、就労確保に向けた自己啓発や職業能力向上の要求が高まっています。

特に、増加する高齢世代については、地域や家庭の中で、健康で生きがいを持ち、生活

していくことが重要となっています。

市民の主体的な学習の支援には、このような人生の段階ごとの学習要望の充足に向けた、学習への積極的な動機付けや能力開発、生きがい支援など多様な対応を行っていく必要があります。

それとともに、家庭のしつけや学校教育のあり方、地域の連帯意識の希薄化や青少年を取り巻く社会環境の悪化など、様々な問題が指摘されている今日の状況を踏まえ、人生の段階ごとの学習活動を通じた異なる世代間の交流へと発展させていくことが重要です。

これにより、多くの市民による交流が生まれ、豊かな地域社会形成へのきっかけが生まれるからです。

## 施策の方向、該当施策・事業

### 中項目1 学びの基礎を育む

家庭、学校、地域の連携・協力による教育活動を通して、幼・少年期に対し生涯を通して学んでいく力を育てていきます。また、特に子育て家庭が、地域の一員として充実した生活を過ごせるよう、地域での交流・活動の機会を推進していきます。

#### (1) 家庭教育の充実

家庭における教育は、基本的な生活習慣や倫理観などの基礎を子どもたちに育む教育の出発点となるものです。このような認識に立ち、親などが積極的に学習や交流ができる機会の提供や資料と情報の充実を図ります。

#### 主な施策・事業

- 子どもセンター運営の充実（子育て支援課）
- ☆幼児教育学級の実施（保育所・幼稚園・各公民館）
- ☆家庭教育学級の実施（各公民館・小中学校）
- 家庭教育の啓発・普及（生涯学習課、学校教育課）

#### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
家庭教育	家庭教育学級 【講話・実技】	参加人数	10,267人	15,000人	16,000人	各公民館

#### (2) 学校教育の充実

平成29年3月に策定された「石巻市教育振興基本計画」の推進を通し、家庭、地域との連携・協力のもと、幼稚園を含む市立学校の教育活動を充実させ、子どもたちの確かな学力と生きる力を育みます。そして、生涯にわたって学んでいくことや地域とのつながりの重要性を学んでいかせます。

**主な施策・事業**

- 学校での環境学習への支援（学校教育課、環境課）
- ☆自然体験・生活体験学習の拡充（学校教育課、生涯学習課）
- ☆学校評議員の積極的な活用（学校教育課）
- ☆地域の教育力を生かした教育活動の推進（学校教育課）
- ☆協働教育の推進（生涯学習課）
- ☆起業教育の推進（生涯学習課、学校教育課、商工課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
学校ボランティア活用	学校の活動にかかわる多様な分野でのボランティア活用を進める	実施校	100%	100%	100%	学校教育課

**(3) 子育て家庭への支援**

少子化や地域連帯意識の希薄化から生じる子育て家庭の地域からの孤立や子育てへの不安の解消に向け、子育て家庭への相談や情報提供を充実させていきます。また、特に幼児がいる家庭については、幼児を含めた保護者同士の情報交換や交流・活動の場を設け、家庭と地域との交流を促進していきます。

**主な施策・事業**

- 育児、自主グループへの支援（子育て支援課）
- ☆子育て支援センターの運営（子育て支援課）
- 教育相談の充実（学校教育課、市民相談センター）
- ☆親子を対象としたスポーツ、レクリエーションの実施（体育振興課、健康推進課、子育てサークル）
- ☆家庭教育支援事業の充実（生涯学習課、NPO）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
子育て支援センター事業	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援など、子育て家庭に対する育児支援	相談件数	743件	750件	800件	子育て支援課
		支援件数	617件	600件	600件	
		親子教室利用数	17,304組	22,000組	22,000組	



**中項目2 青少年の学びの体験を発展させる**

青少年は、将来、その地域の要となる貴重な人材です。このことから、青少年が幼・少年期に培った学びの基礎を発揮し、学習活動を行うとともに、将来にわたって地域の一員として活動していく環境を整備していきます。

**(1) 青少年の地域活動への参加の促進**

青少年の学習活動の要望を把握し、地域の中で自らの特技や能力を発揮できる機会を創設し、青少年に地域を担う一員としての自覚と責任を醸成していきます。

**主な施策・事業**

- 青少年体験活動の実施（生涯学習課、社会福祉協議会）
- ふるさと子どもカレッジの実施（生涯学習課）
- 青少年ボランティア活動の充実（学校教育課）
- ジュニアリーダーの養成（生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ジュニアリーダー研修会	ジュニアリーダーの養成と資質の向上	養成人数	61人	80人	100人	生涯学習課

**(2) 青少年の読書活動の促進**

家庭、地域、学校と図書館などにおいて子どもが読書に親しむ機会を提供することに努めます。

**主な施策・事業**

- 子ども読書活動推進計画の推進（図書館、生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
市子ども読書活動推進計画事業	推進計画事業の進行管理	計画の推進管理	見直し	改訂	改訂	図書館 生涯学習課

**(3) 青少年相互の交流の促進**

地域を担う青少年が、将来にわたり様々な人々と連携・協力しながら社会の中で活躍していける地域を目指し、情報交換や交流機会の充実を図ります。

**主な施策・事業**

- ☆ふるさと体験事業の企画・運営（生涯学習課、NPO）
- ☆青少年自然体験活動の実施（生涯学習課、NPO）
- ☆新成人者主体による成人式の開催（生涯学習課、公民館、実行委員会）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ふるさと体験事業の企画運営	各種ふるさと体験事業	実施回数	8回	10回	10回	生涯学習課 NPO

**中項目3 成人世代への支援**

成人世代、特に働く人が、仕事や趣味を生かして充実した生活が送れるよう、能力開発への支援や充実した余暇活動への支援を行っていきます。

**(1) 能力開発への支援**

働く人のキャリアアップを目的とする自己啓発の意欲がますます高くなっている状況を踏まえ、市は、実践的な知識・技能や将来の職業生活設計に関する学習の情報や機会の提供に努めます。

**主な施策・事業**

- ☆技能研修制度に関する情報提供（商工会議所・商工課）
- ☆キャリアアップ講座の実施（商工会議所・商工課）
- ☆「まなび舎」まちづくりゼミ（生涯学習課・NPO）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
「まなび舎」まちづくりゼミ	講座の実施	参加人数	43人	50人	60人	生涯学習課 NPO

**(2) 余暇活動への支援**

成人世代がより充実した生活を過ごせるよう、地域活動への参加や余暇活動への支援を行います。

**主な施策・事業**

- ☆体育・レクリエーション事業の充実（体育振興課・各種協力団体）
- ☆各種文化事業の開催（石巻市文化協会・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団・複合文化施設開設準備室）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
体育レクリエーション事業	エアロビクス・卓球講座等、スポーツレクリエーション活動の充実	企画実施の有無	有	有	有	体育振興課 関係団体

## 中項目4 高齢者への支援・活用

生きがいへの活動や就労の機会の充実により、高齢者が社会の一員として自立した生活を送ることができるよう、地域参加への機会を充実していきます。

## (1) 生きがいへの支援

老人クラブ活動や老人福祉センター、老人憩の家の運営などを通し、高齢者の主体性を尊重した活動を支援していきます。

また、高齢者とのふれあいや生きがいづくり・健康づくりを目的とした活動を行っているボランティア団体との連携も図ります。

このようなことを通し、高齢者の住みなれた地域での生きがいを持った生活への支援を推進していきます。

## 主な施策・事業

☆老人クラブ活動への支援（社会福祉協議会）

●生きがいと創造の事業の推進（福祉総務課）

●高齢者対象健康講習会の実施（健康推進課）

●高齢者向けスポーツの充実（体育振興課）

●高齢者教室の充実（各公民館）（新）

☆NPO体験事業等の実施（NPO）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
高齢者NPO体験事業	実際のNPO活動に期間を決めて参加してもらい、活動のきっかけづくりを行う	企画実施の有無	有	有	有	NPO 生涯学習課

## (2) 就労への支援

働くことを希望する高齢者が豊かな経験や知識・能力を生かした仕事を通して、地域社会に参加していけるよう、就労の機会を拡大していきます。

## 主な施策・事業

●公益社団法人石巻市シルバー人材センターへの支援（商工課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
セカンドライフ セミナー	セカンドライフを考 えるための講座	参加者数	検討	10人	20人	NPO 生涯学習課

## 中項目5 世代間交流の促進

都市化や家族形態の多様化が進み、市民相互の社会的なつながりが希薄になっている中、豊かなコミュニティの形成には、様々な人々が主体的に交流し、触れ合いができる地域づくりを進める必要があります。

そのため、異なる世代間での学習活動を通じた交流の機会を推進し、その活動を通じた地域社会の形成を推進していきます。

## (1) 世代間交流の促進

子どもから高齢者までの各世代が、学校、家庭、地域にとらわれない学習活動を通じた多様な交流ができる機会を充実させていきます。

特に成人世代については、個人の自己実現だけではなく、地域の課題解決に向けた世代間の交流の要として、職業や趣味などの経験を通して培ってきた知識・技術を生かして、積極的に地域づくりに参画していけるような条件整備や支援を行っていきます。

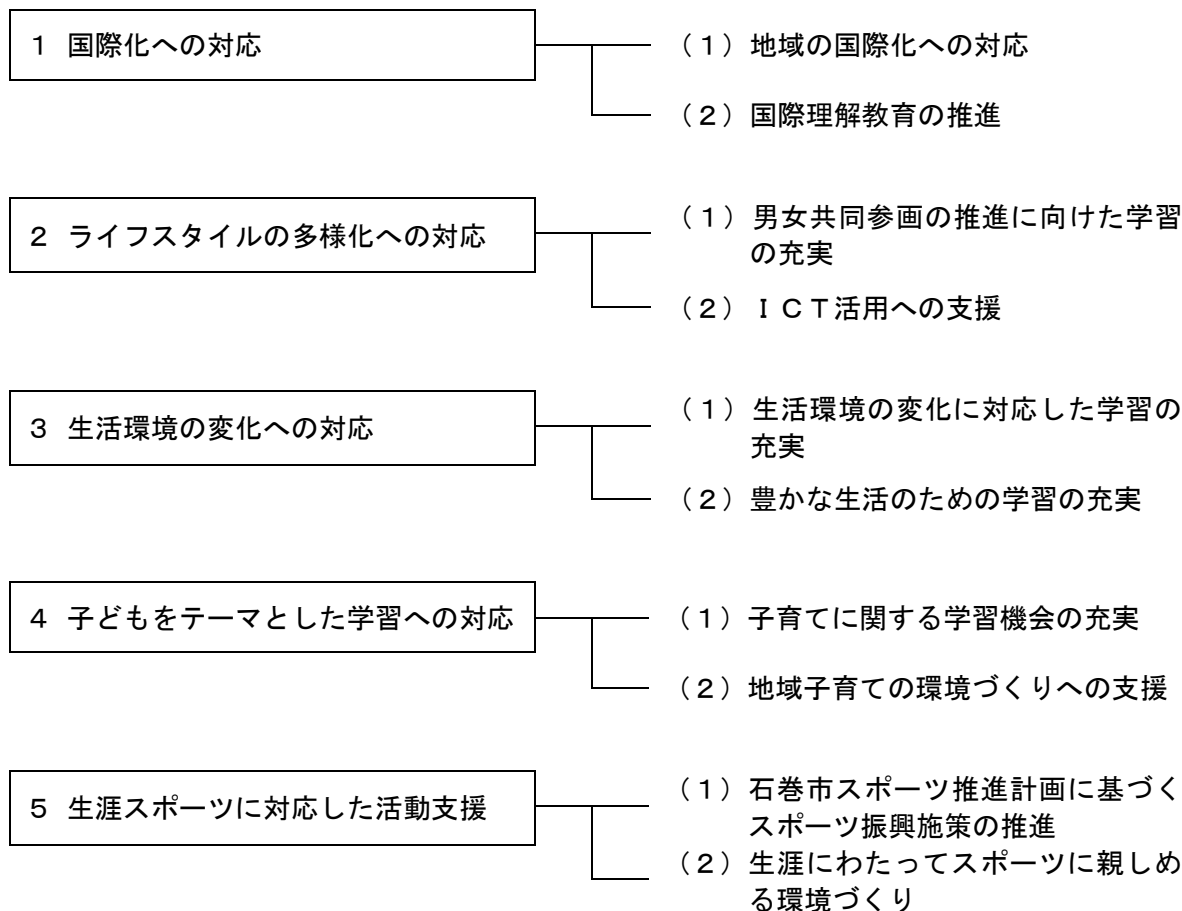
## 主な施策・事業

- ☆親子体験事業の充実（子ども会育成会、NPO）
- ☆交流促進に向けたコーディネート体制の整備（生涯学習課）
- ☆総合型地域スポーツクラブの設立と運営への支援（体育振興課）
- ☆世代間交流事業の推進や交流を前提とした懇談会の開催（各団体）
- ☆障害者交流事業「ノーマライゼーション普及」（社会福祉協議会）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
世代間交流	各種事業等において世 代間交流を考慮した企 画運営の推進	企画実施の 有無	有	有	有	各団体

## 大項目3 ライフスタイルに応じた学習への支援



### 施策展開の方針（基本構想）

生活時間の深夜化、核家族や単独世帯の増加、国際化などを背景に人々のライフスタイルの多様化が進む中、その違いにより学習の機会に差が生じることのないよう様々なライフスタイルの人々の学習要望に応じていきます。

### 現状と課題

現代の人々の生活は、消費経済、健康づくり、環境、リサイクルなど様々な課題の中で営まれています。また、生活仕様の多様化や国際化などにより、人々の生活パターンは多様なものとなっています。

そして、このような状況の変化を背景に、人々の学習要望が多様化しています。しかし、その一方では、様々な理由により学習活動に支障をきたす状況も生じています。

市は、このような状況を踏まえ、ライフスタイルの違いにより学習の機会に差が生じることのないよう、学習を阻害している要因の把握・除去に努める必要があります。特に、性別や言葉の違いによる学習活動参加への不利益については、積極的に解消していく必要があります。

## 施策の方向、該当施策・事業

### 中項目1 国際化への対応

石巻市においても国際結婚が増加するなど、国際化の流れは大きく動いています。

外国籍の市民の増加、国際交流の増加を踏まえて、市民が自ら国際感覚の向上と国際交流の実践に取り組んでいけるような環境整備に努めます。

#### (1) 地域の国際化への対応

外国籍の市民が充実した学習活動を行っていけるよう、学習情報や学習機会の提供を充実させていきます。

##### 主な施策・事業

- 非核宣言都市としての学習の充実(学校教育課、総務課)
- 外国人相談の充実(地域振興課)
- 国際交流関係団体への支援(地域振興課)

##### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
外国人相談の充実	外国人に対する相談窓口の開催	件数	36件	50件	60件	地域振興課

#### (2) 国際理解教育の推進

すべての市民が、多様な価値観や異文化を理解し尊重していけるよう、個人や様々な団体との連携・協力により、国際交流や国際理解の機会を充実させていきます。

##### 主な施策・事業

- ☆国際理解学習・体験活動の機会拡充(学校教育課、生涯学習課)
- 学生海外派遣事業の運営(河川港湾室、地域振興課)
- 外国人指導者の確保・活用(学校教育課)

##### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
外国人指導者・外国語指導者の確保・活用	国際理解学習、外国語体験学習の拡充	外国語指導者	20人	検討	検討	学校教育課

**中項目2 ライフスタイルの多様化への対応**

家族形態、職業、性別、言語の違いなどにより学習活動に違いが生じることのないよう、多様化する生活様式や価値観に対応できる学習情報や機会を提供していきます。

**(1) 男女共同参画の推進に向けた学習の充実**

生活様式の違いや男女の性別にかかわらず、希望する学習活動を行ってほしいよう、学習情報や機会の提供を充実させていきます。

**主な施策・事業**

- 男女共同参画社会づくりの推進に向けた講座の実施（地域協働課）
- 子育てに関する学習機会の充実（生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28実績	H33年度	H38年度	担当課等
男女共同参画関連イベント	市民向け講演会等	参加者数	2,168人	要検討	要検討	地域協働課

**(2) ICT活用への支援**

情報化社会への対応に不安を持つ市民を対象に、多様なパソコン講座を開講し市民ニーズに対応していきます。

**主な施策・事業**

- ☆パソコン講座の充実（情報システム課、NPO）
- ☆インターネット環境の整備（情報システム課、NPO）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28実績	H33年度	H38年度	担当課等
パソコンセミナー	パソコンの操作技術向上に対する支援	年間相談数	74回	100回	100回	情報システム課 NPO

**中項目3 生活環境の変化への対応**

時代が求める新たな学習課題について、市民の要望に応えながら、時代に対応した学習機会の提供をしていきます。

**(1) 生活環境の変化に対応した学習の充実**

市民、生涯学習関係団体、行政が互いに連携・協力して、消費活動や健康づくりなど、現代的で身近な生活環境に関する学習の機会を提供していきます。

**主な施策・事業**

- ☆食に関する事業の推進（健康推進課）
- 英語教育環境の整備（学校教育課）
- 健康学習の充実（健康推進課、市立病院）
- ☆ごみ減量・リサイクル推進に関する学習会への支援（廃棄物対策課）
- ☆地球温暖化に関する学習会への支援（環境課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ごみ減量推進事業	循環型社会形成に向けた3Rの推進	市民1人当たりのごみ排出量（日）	1,055 g	989 g	930 g	廃棄物対策課

**(2) 豊かな生活のための学習の充実**

市民がより豊かな生活が送れるよう、市民、生涯学習関係団体、行政が互いに連携・協力して、市民のニーズに対応した学習の機会を提供していきます。

**主な施策・事業**

- ☆市民教養講座の実施（各公民館・地域づくり委員会）
- ☆各種展示、発表会の開催（各公民館・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団）
- ☆各種公演事業の開催（公益財団法人石巻市芸術文化振興財団）
- ☆各種漫画ワークショップの実施（石ノ森萬画館）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
市民教養講座の実施	各種趣味の教室の開催 絵画・写真・書道・華道・茶道ほか	実施講座数	80回	90回	100回	各公民館等

**中項目4 子どもをテーマとした学習への対応**

少子化の中で、子どもにかかわる問題が表面化してきています。これまでのように、子どもの問題は、家庭と学校の問題ということでは解決できない多くの課題が見えています。こうした中で、「子ども」にかかわる学びに、子育て世代以外の市民にも取り組んでもらうことにより、地域ぐるみの子育て環境の整備に努めます。

**(1) 子育てに関する学習機会の充実**

子育てに不安を持つ親を対象とした学習の機会をテーマごと、地区ごとに開催していきます。特に、父親対象、両親一緒の学習の機会の充実に努めます。



### 主な施策・事業

- 家庭教育学級の開催（生涯学習課、各幼稚園、各小中学校）
- 子育てに関する健康教育の実施（健康推進課）
- 読書推進事業（図書館）（新）

### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28実績	H33年度	H38年度	担当課等
紙芝居と読み聞かせ	紙芝居とおはなしの会、たのしいおはなし会、あかちゃんおはなし会等の開催	延べ参加者数	957人	1,300人	1,500人	図書館

## （2）地域子育ての環境づくりへの支援

地域ぐるみで子育てをしていく環境を整えるために、健全育成、学校支援など、「子ども」をテーマとしたコミュニティづくりを進めます。  
こうした活動に、子育て世代以外の市民の参加を求めています。

### 主な施策・事業

- ジュニアリーダーの育成（生涯学習課・公民館等との連携）
- 子ども会育成会等への支援指導（生涯学習課・公民館等との連携）
- ☆健全育成に関する会議の運営（市民相談センター）
- ☆協働教育推進会議の運営（生涯学習課）

### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28実績	H33年度	H38年度	担当課等
協働教育推進会議設置事業	学区ごとに推進会議を設置	設置数	4校区	15校区	15校区	生涯学習課

## 中項目5 生涯スポーツに対応した活動支援

市民がそれぞれの生活の中で、気軽に競技スポーツや健康スポーツに取り組むことができるような環境整備を進めます。また、スポーツに取り組むことによる新たなコミュニティの形成にも努めます。

### （1）石巻市スポーツ推進計画に基づくスポーツ振興施策の推進

計画的に長期的なスポーツ振興を行うため策定した石巻市スポーツ振興基本計画に基づいて、市民との協働によるスポーツ振興に取り組みます。

### 主な施策・事業

- ☆石巻市スポーツ振興基本計画の推進（体育振興課）
- ☆石巻市スポーツ振興基本計画の進行管理（体育振興課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
石巻市スポーツ振興基本計画実施事業	石巻市スポーツ振興基本計画の推進と進行管理	達成状況(%)	検討	検討	検討	体育振興課

## (2) 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくり

スポーツ関係団体や市民との協働により、いつでもどこでも、気軽にスポーツ活動に参加でき、自らが進んでスポーツに親しむことができるような環境づくりに努めます。

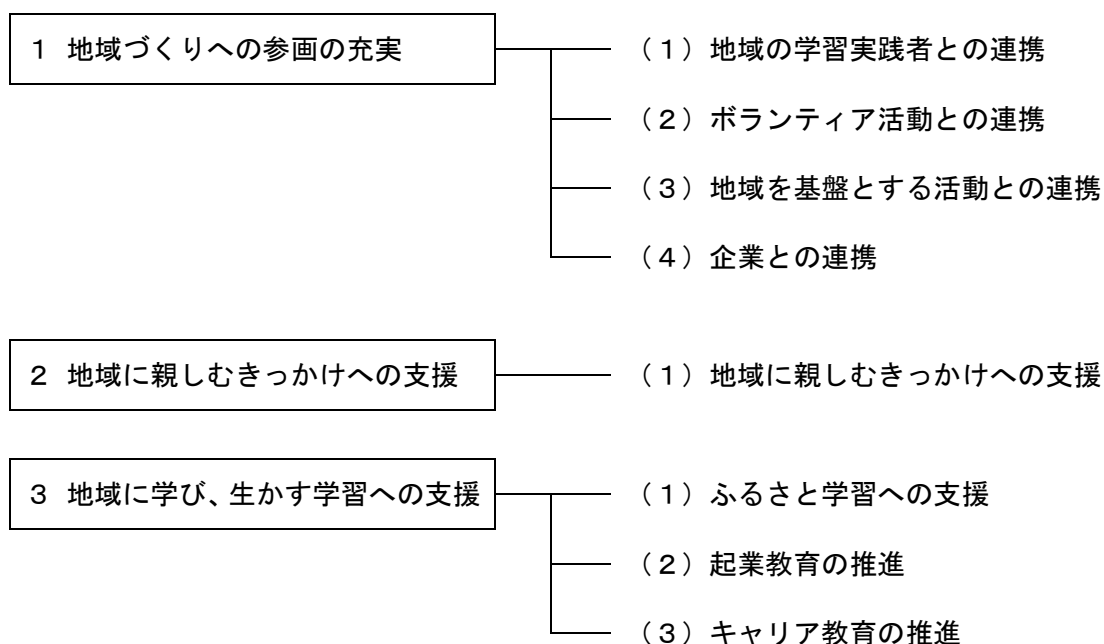
## 主な施策・事業

- 総合型地域スポーツクラブの育成と支援（体育振興課）
- スポーツ施設のネットワークの整備（体育振興課）
- ☆各種競技団体などへの活動支援（体育振興課）
- ☆市民ニーズに対応したスポーツ事業の実施（体育振興課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
市民スポーツフェスタ	グラウンド・ゴルフ大会 ニュースポーツ体験 ウォーキング講習会 体力測定会	参加者数	200人	200人	200人	体育振興課

## 大項目4 「地域に学び、地域に生かす」仕組みの整備



### 施策展開の方針（基本構想）

豊かな地域社会の形成に向け、人々の豊かな交流や活動を通して、学習活動を実践している人の知識・経験が地域で生かされていく仕組みを整備していきます。

### 現状と課題

豊かな地域社会づくりには、人々が自分の住む地域に関心を持ち、地域の問題解決に向けて、互いの意見を尊重しながら協力し合う関係を醸成していくことが欠かせない条件となります。このためには、一人ひとりが身近な地域を見つめ直すとともに、地域で行われている様々な活動に市民が気軽に参加していけるきっかけが必要です。

現在、地域では、個人やNPOなどにより保健福祉、教育、まちづくり、文化・スポーツ、防災、リサイクル、環境保全など様々な分野の活動が行われています。このような活動は、社会に貢献しつつ、自己実現を果たしていくものであり、豊かな地域社会づくりにとっても大きな役割を持つものです。

このことから、市は、市民や地域で活動を行っている団体との連携・協力を促進し、住民主体の活動を通じた市民相互の学び合いのシステムを構築していく必要があります。

なお、この学び合いの仕組みへは、個人だけではなく、地域にある企業も参画していくことが大切です。このことにより、地域の個人・団体が連携・協力しあう学び合いによる地域づくりが可能となります。

## 施策の方向、該当施策・事業

### 中項目1 地域づくりへの参画の充実

地域を中心に市民や公益的な活動を行う非営利団体などにより行われている活動への支援や連携・協力を推進していきます。また、企業に対しても、地域の重要なパートナーとして、積極的に地域への参加を要請、支援していきます。

このようなことを通し、様々な人々の地域への参加を促進し、地域を基盤とする学び合いの仕組みを構築していきます。

#### (1) 地域の学習実践者との連携

地域で学習活動を行っている市民の把握に努め、個人やグループの出会いやつながりの機会を充実させていきます。さらに、学習活動を通して培った知識・技能が地域の人々に生かされていくことを支援し、学び合いによる豊かな地域社会づくりを推進していきます。

#### 主な施策・事業

- ☆協働教育支援会議の運営（学校、NPO、企業、生涯学習課）
- 環境保全リーダーの育成（環境課）
- ☆学習実践者相互の連携するための会議（生涯学習課）

#### 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
生涯学習リーダー会議	生涯学習の推進を担うリーダーの連絡会議	会議設置	検討	2回	2回	生涯学習課

#### (2) ボランティア活動との連携

ボランティア活動は、その活動を通して、様々な人とのつながりや視野を広げ、様々な課題への取り組みを通し自己実現を果たしていくものであり、“地域に学び、地域に生かす”学習社会の実現への重要な役割を持つものです。

このことから、学校でのボランティアに関する学習を推進し、ボランティア活動の底辺を広げていきます。また、活動が活発化する中、ボランティア同士の交流を促進し、活動の活性化を推進していきます。さらに、市立施設の運営にもボランティアを積極的に受け入れるよう心がけていきます。

このようなことを通し、ボランティア活動を通した豊かな地域社会づくりの仕組みを構築していきます。

#### 主な施策・事業

- ☆ボランティア活動相談（社会福祉協議会・ボランティアセンター）
- ☆ボランティアのネットワークづくり（NPO支援オフィス・社会福祉協議会）
- ☆各種ボランティアの育成・活用（各担当課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ボランティア団体交流事業	各種ボランティア相互間の連携に伴う親睦会や交流事業に取り組む	開催の有無	無	有	再検討	生涯学習課 ボランティア 団体

## (3) 地域を基盤とする活動との連携

地域の人々が自主的に行うコミュニティ活動やNPOなどの活動を通して、積極的に地域の課題を解決していけるよう、地域で行われる活動への市民の参加の支援や、団体の活動の場の情報の提供などを通して、地域を基盤とする活動との連携・協力を推進していきます。

## 主な施策・事業

- ☆町内会・自治会等への学習支援（地域協働課・生涯学習課）
- 地域づくり活動への助成・支援（地域協働課）
- 生涯学習地域づくり研修会の開催（生涯学習課、公民館）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
地域づくり学習センターモデル事業	モデル地区を指定し、生涯学習による地域づくりに取り組む	モデル地区数	検討	5地区	5地区	生涯学習課

## (4) 企業との連携

市内企業に対し、地域の一員として地域の行事への参加を呼びかけ、地域・住民との交流を促進していきます。

## 主な施策・事業

- 地域づくりにおける企業参加の促進（生涯学習課）
- 起業教育研究の学習の推進（生涯学習課）
- ☆企業との連携事業の推進（生涯学習課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
企業との連携事業学習	企業との協働事業活動	協働事業数	6回	10回	10回	生涯学習課

**中項目2 地域に親しむきっかけへの支援**

地域での学び合いの推進に向け、市民が地域に愛着を持つ学習機会を充実させていきます。

**(1) 地域に親しむきっかけへの支援**

地域に伝わる文化財の保護・継承に努め、市民の郷土意識を高めます。また、身近な地域で行われるスポーツ・レクリエーション活動を活発化し、健康づくりを通じたコミュニティづくりを推進していきます。さらに、地域でのスポーツ、レクリエーション活動への小・中学校の参加を促進していきます。

このような活動を通して、幅広い世代が地域に愛着を持てるよう努めます。

**主な施策・事業**

- 伝統文化の継承（生涯学習課・公民館）
- 文化財マップの整備（生涯学習課）
- 市政教室、親子市政教室の実施（秘書広報課）
- 文化財を利用した啓発普及事業の実施（生涯学習課）
- 郷土資料の展示及び教育事業の実施（生涯学習課）
- ☆ 文化財に関する地域人材との連携・協力（生涯学習課）
- ☆ 地区スポーツ大会の実施（体育振興課・公民館）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
文化財めぐり	文化財の探訪	参加者数	未実施	20人	50人	生涯学習課

**中項目3 地域に学び、生かす学習への支援**

石巻を知り、石巻を考え、石巻を創るための学習に子どもの時代から取り組めるようにしていきます。

**(1) ふるさと学習への支援**

学校の学びを支える地域の教育力向上の仕組み作りを学校単位で進めます。この仕組みの中で、地域の人材、学習素材をリストアップし、教育活動の中に有効に活用していくよう努めます。

**主な施策・事業**

- 市内全小学校への協働教育コーディネーターの配置（生涯学習課）
- ☆ 人材の登録・活用（生涯学習課・各小中学校・高校）
- ☆ 協働教育推進事業の実施（生涯学習課・市内小学校）**（新）**

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
協働コーディネーター配置事業	市内全小学校に協働コーディネーターを配置（教諭兼任）	配置数	35人 (全校)	全校	全校	生涯学習課

## (2) 起業教育の推進

地元の経済活動に目を向けながら、チャレンジ精神や創造性などの起業精神を身に付けさせる起業教育の推進に努めます。震災後は産業が依然低迷し、人々の雇用状況はいまだ厳しいものがあります。この活動を通して、自ら考え、働くことの大切さを学ぶ起業教育を推進していきます。

## 主な施策・事業

- ☆生涯学習市民会議（起業教育研究部会）の運営（生涯学習課）
- ☆ふるさと子どもカレッジの実施（生涯学習課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
ふるさと子どもカレッジ	小学生向けの体験型事業（市内探検）	応募者数	19人	30人	30人	生涯学習課

## (3) キャリア教育の推進

社会構造が大きく変化し、雇用の多様化・流動化が進む中、フリーターなどの若年者の不安定就労や、ニートと呼ばれる若者の存在が社会問題となっています。「生きる力」を身に付け、様々な課題を乗り越えていくたくましさが必要です。社会の変化に流されることなく、社会人・職業人として自立していくためには、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるよう、職業従事に必要な知識、技術、態度を修得させることを目的としたキャリア教育を充実させます。

## 主な施策・事業

- 職場体験の受入れ（人事課）
- ☆キャリア・スタート実践校事業の実施（学校教育課・市内中学校・企業）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
職場体験活動	中学、高校、大学生向け職場体験活動	実施人数	47人	50人	50人	人事課

## 大項目5 市民、学校、学習団体との連携・協力による学習機会の提供

1 専門的知識・技能を持つ人との  
連携・協力

(1) 専門的知識・技能を持つ人との  
連携・協力

2 様々な生涯学習関係団体との  
連携・協力

(1) 生涯学習関係団体との連携・協力

### 施策展開の方針（基本構想）

市民の中には専門的な知識を持った人がたくさんいます。さらに、自らの学習活動を通して、知識や経験を蓄積してきた人も増えています。また、市内には、公開講座を行っている高等学校や大学があります。その他、専門学校や専修学校も多くあります。さらに、民間教育事業者などによる学習の機会の提供も活発に行われています。このような様々な学習資源との連携・協力を密にすることにより、市民に多様な学習の機会を提供していきます。

### 現状と課題

専門的な知識・経験を有する市民や市内にある大学や高等学校、専門・専修学校が有する専門性は、市の生涯学習推進にとって貴重な財産となるものです。

市民の学習要望が多様化、高度化する中、そのような個人・団体との連携・協力による市民の学習活動への支援は、ますます重要となっています。

しかし、現状は個人・団体と行政との連携は一部では行われていますが、総合的な連携・協力の関係はまだ十分ではありません。

このようなことから、市は、多様な学習機会の提供に向け、市内の学習活動を行っている様々な個人・団体との連携・協力を進めていく必要があります。

特に、高等教育機関を含む公私立学校に対しては、それらが実施する事業への適切な協力を行うとともに、人材や施設の市民への開放についての協力を要請していくことが重要となります。また、市が直接実施する学習事業については、高等教育機関などが展開する学習事業の状況を踏まえ、その役割を改めて再確認し、状況に応じたものを実施していく必要があります。

### 施策の方向、該当施策・事業

#### 中項目1 専門的知識・技能を持つ人との連携・協力

市民への多様な学習機会の提供に向け、専門的知識・技能を有する身近な人との連携・協力を推進していきます。



## (1) 専門的知識・技能を持つ人との連携・協力

市内に居住、在勤、在学する学識経験者や企業の研究員、芸術家など専門的知識・技能を有する人を把握し、市の学習事業への協力を要請していきます。

## 主な施策・事業

☆専門的知識・技能を持つ人の協力による学習機会の提供（生涯学習課、各公民館、関係施設）

☆「生涯学習情報バンク（人材・団体）」の充実・活用（生涯学習課）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
人材育成と確保	いしのまき人財・地域創生会議による人材育成講座開設	登録講座数	5 講座	10 講座	20 講座	生涯学習課

## 中項目2 様々な生涯学習関係団体との連携・協力

市民への多様な学習機会の提供に向け、市内の生涯学習関係団体との連携・協力を推進していきます。

## (1) 生涯学習関係団体との連携・協力

市内の大学・学校、文化施設、その他教育機関、企業などに対し、施設の開放や人材の派遣など物的、人的両面での協力や情報提供を要請していきます。また、それらの機関が独自に行う学習事業に対し、市として適切な支援を行っていきます。

## 主な施策・事業

●石巻専修大学開放講座との連携・協力（総務課）

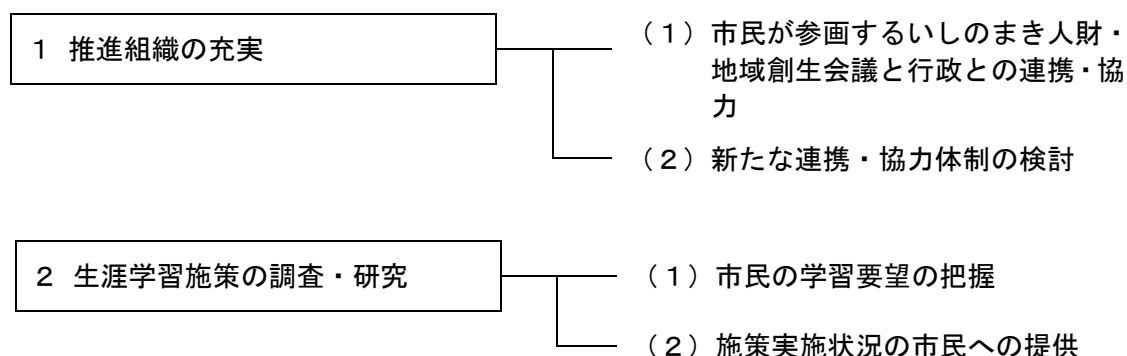
●みやぎ県民大学生涯学習開放講座との連携・協力（生涯学習課、総務課）

☆施設ボランティアの育成と協力体制の充実（各施設）

## 重点評価施策・事業

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
みやぎ県民大学開放講座	大学機能を一般市民に開放	受講者数	58 人	100 人	100 人	総務課

## 大項目6 協働による生涯学習推進体制の再構築



### 施策展開の方針（基本構想）

人々の生涯にわたる学習活動の支援に向け、生涯学習推進の基盤を確固たるものにしていきます

### 現状と課題

生涯学習の推進に向けては、これまでも生涯学習推進本部等の運営を通して市民参画を踏まえた推進に努めてきました。しかし、市民の学習要望が多様化する中、今後の生涯学習施策の実施に当たっては、これまで以上に市民との連携・協力が必要となります。そのために、「いしのまき人財・地域創生会議」という協働による推進の仕組みを設置し、推進体制の整備をしていく必要があります。

また、様々な機関が生涯学習事業を展開している状況を鑑み、それら機関と行政との新たな連携・協力の体制の確立も必要となります。その典型が、石巻市民大学、地域づくり学習センターとして位置付けられる仕組みです。

さらに、市民と行政が一体となって生涯学習施策を推進するため、生涯学習施策の実施状況を積極的に市民に公開し、行政に対する市民の信頼感を高めながら、生涯学習施策推進への市民の参画を促進していく必要があります。

### 施策の方向、該当施策・事業

#### 中項目1 推進組織の充実

生涯学習の推進に向け、従来からの市民参画の体制をさらに充実していきます。また、生涯学習活動を行っている様々な団体との新たな連携・協力の関係を確立していきます。

##### (1) 市民が参画するいしのまき人財・地域創生会議と行政との連携・協力

生涯学習市民会議のより充実した運営を行うとともに、様々な場や方法による市民が参画する仕組みを確立し、広く市民の意見・要望の収集や協議の機会を設けていきます。さらに、寄せられた意見・要望が施策に適切に反映されるよう、部局間の横断的な推進体制の充実に努めていきます。

**主な施策・事業**

- いしのまき人財・地域創生会議での推進状況確認（生涯学習課）
- 社会教育委員会議の運営（生涯学習課）
- ☆施設利用者懇談会の運営（各公民館、関係施設）
- スポーツ推進委員会議の運営（体育振興課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
いしのまき人財・地域創生会議での計画推進会議	生涯学習推進の進捗状況を調査評価していく	推進評価の実施	5回	6回	6回	生涯学習課 いしのまき人財・地域創生会議

**(2) 新たな連携・協力体制の検討**

高等教育機関を含む公私立学校、企業などの団体と行政が連携・協力し生涯学習社会を推進していく新たな協働の仕組みを様々な団体とともに確立していきます。

**主な施策・事業**

- ☆生涯学習関係団体などとの新たな連携・協力体制の検討（生涯学習課、各公民館、関係施設）
- ☆いしのまき人財・地域創生会議の運営（生涯学習課、各公民館）（新）
- ☆石巻市民大学「まなび舎」の運営（生涯学習課、各公民館）（新）
- ☆（仮称）地域づくり学習センターの設置と運営（生涯学習課、各公民館）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
いしのまき人財・地域創生会議の運営	生涯学習推進を担う人材を公募し、組織化して活動を展開	参加者数	37人	40人	40人	生涯学習課

**中項目2 生涯学習施策の調査・研究**

市民の学習要望や新しい課題に対し、適切に生涯学習施策を展開していけるよう、市民の学習要望の把握を行うとともに、施策の実施状況を公開し、情報の共有化を推進していきます。

**(1) 市民の学習要望の把握**

市民の要望に沿った学習事業の展開を目指し、市民への意識調査の実施や行政モニター制度の活用などを通して、市民の学習要望の的確な把握に努めます。

**主な施策・事業**

- 市民意識調査の実施（生涯学習課）
- ☆各種団体との懇談会開催（生涯学習課）
- ☆いしのまき人財・地域創生会議による聞き取り調査の実施（いしのまき人財・地域創生会議）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
生涯学習意識調査	講座実施団体、参加者からのアンケート	実施回数	未実施	1回	1回	生涯学習課 いしのまき人財・ 地域創生会議

**(2) 施策実施状況の市民への提供**

生涯学習施策の実施状況について、評価を行い、その結果を市民に公開することにより、市の生涯学習の推進状況について、市民と情報を共有していきます。

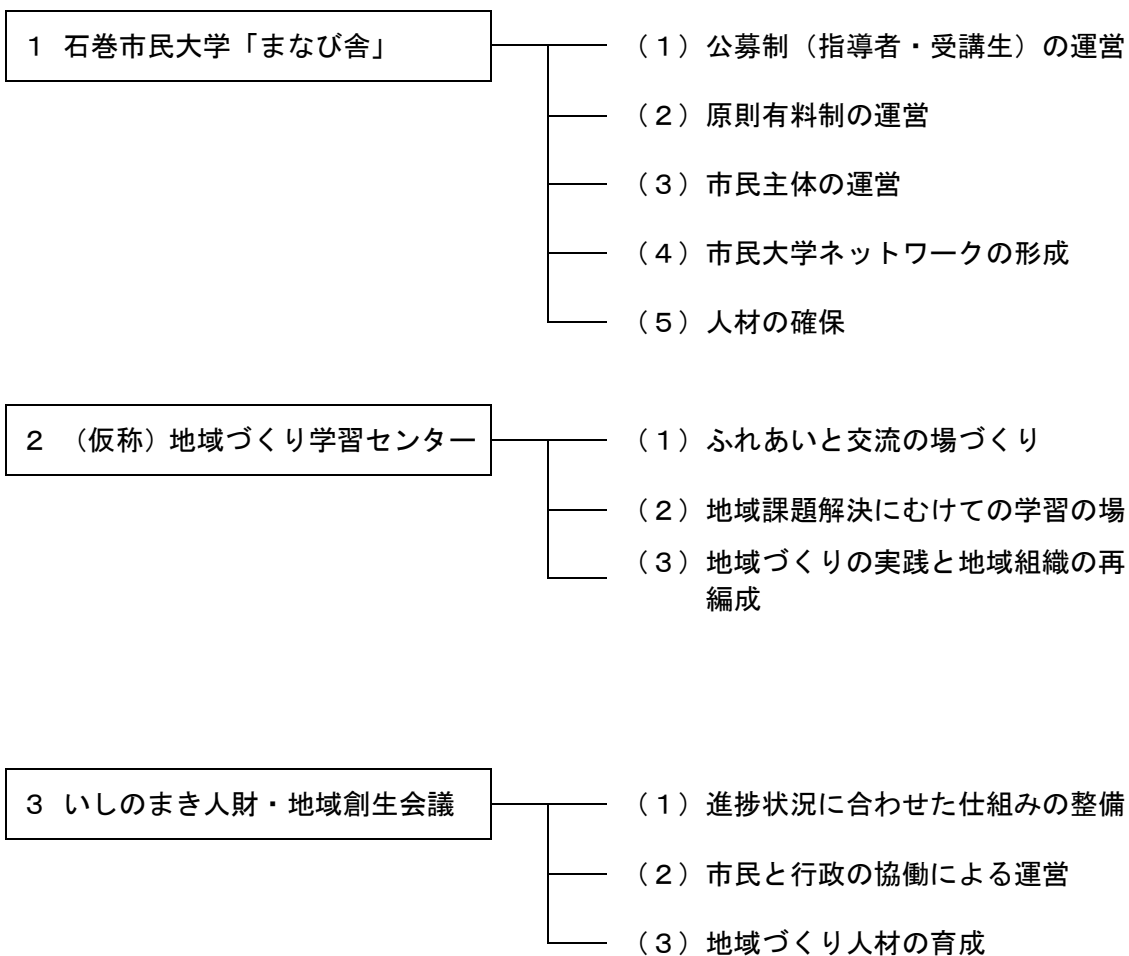
**主な施策・事業**

- ☆生涯学習推進計画の進捗状況管理（生涯学習課、いしのまき人財・地域創生会議）
- 市報・ホームページによる活動状況の公開（生涯学習課）

**重点評価施策・事業**

実施事業名等	事業内容	評価指標	H28 実績	H33 年度	H38 年度	担当課等
生涯学習ホームページ管理	生涯学習ホームページでの活動状況公開	更新回数	年5回	月2回	月2回	生涯学習課

## 第4章 新たな取り組み



## 1 石巻市民大学「まなび舎」

### 施策展開の方針（基本構想）

この仕組みは、現在行政や他の公共機関で実施されている学級や講座を見直し・再構成して、総合的に企画・運営する場でもあります。また、市民講師の最大限の活用を進める公募型の講座開設を基本とします。さらに、「人づくり」「地域づくり」のもっとも象徴的な場であり、体系的・組織的学習を行える場ととらえます。

### 現状と課題

市内には、生涯学習に取り組む様々な団体があり、指導的立場の方々も数多く存在します。こうした団体や人材を活用するため、これまでも、生涯学習情報の人材登録システムを運用し、指導者の活用を進めてきました。

一方、公民館などの生涯学習関係施設の学習会、講座などの運営は、一部生涯学習関係団体の主催する講座は存在するものの、行政が企画し運営する講座がほとんどを占めていました。

今後、高齢者が増加する社会の生涯学習においては、専門的知識を持つ市民も増え、そのキャリアを生かした学習機会の提供が可能になります。

このような状況を踏まえ、市民の力を最大限に活用し、市民主体の学習機会の提供を進める仕組みとして、石巻市民大学「まなび舎」（以下、市民大学）を構築していく必要があります。

### 施策の方向

#### （1）公募制（指導者・受講生）の運営

これまで実施されてきた公民館利用者団体協議会や各種サークルなどが主催する講座、研修会の実績を生かし、「市民が指導者・市民が受講生」を基本とする講座構成を一般公募で築き上げます。また、市民大学はNPO、企業、大学等の協力を得て、様々な講座を開講します。

開講にあたっては、希望の講座リストを作成し、一定人数に達した講座について開講する仕組みとします。このための準備として、毎年「市民大学指導者説明会」を実施し、指導希望者の確保を継続して行います。

#### （2）原則有料制の運営

講座は多様な内容を整備し、公民館などの生涯学習関係施設などを利用して行います。また、講座は受講者の受講料を基本に運営し、受講料は「講師謝礼」と「市民大学運営費」として市民大学の運営に充てていきます。

#### （3）市民主体の運営

市民大学の運営については、運営基盤が確立されるまでの期間を生涯学習・社

会教育関係職員が支援しますが、運営基盤の確立をめどに市民サイドに移行し、NPOでの実施も検討していきます。

その後の行政の役割としては、講座開催場所の確保・調整、広報関係への支援が大きな役割となります。

#### (4) 市民大学ネットワークの形成

市内の各公民館、図書館、文化複合施設などで開催されている既存の学級・講座などを再編成し、市民大学と合わせて、学習機会充実にに向けた総合的な企画・運営を行います。

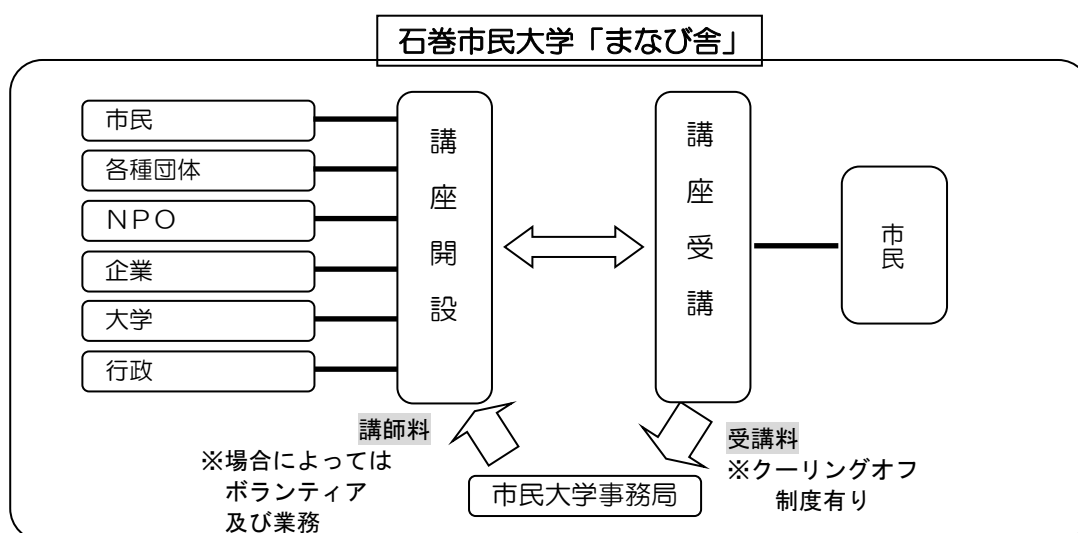
現在、石巻専修大学や地元NPOが宮城県教育委員会と連携した公開講座を開設しています。こうした公開講座を本システムに取り入れることも検討します。

加えて、日中の講座が困難な市民や遠方のため受講できない市民のために、インターネットでの講座開設を検討し、幅広い学習機会の提供に努めます。

#### (5) 人材の確保

従来の人材バンクが既存の人材活用を目指しているのに対し、今後は、人材を育成して活用する方向で指導者の確保に努めます。市民大学の学びを市内の様々な場所で生かしていけるような環境整備を心掛けていきます。

また、市民大学内に学習相談に応じられる専門家や地域の福祉活動を指導助言するコーディネーターを配置できるよう検討し、人材を育てながら市民大学の事務局機能を担える市民の育成に力を入れていきます。



## 2 (仮称) 地域づくり学習センター

### 施策展開の方針（基本構想）

豊かな地域づくりを実現するため、地区の状況に応じて、既存の公民館・各種施設（市立小・中学校、高校を含む。）を

- ① ふれあいと交流の場
- ② 課題解決のための学習と組織の場
- ③ 自己実現とボランティア活動の場づくりを目指した地域の生涯学習センターとして位置付けるものです。

### 現状と課題

地域の町内会等各種自治組織は、市民各自がその必要性を認識し、お互いの利便性や助け合いなど地域社会で生活するために組織化されてきたものと考えられます。

しかし、核家族化・少子化などの社会現象による家族関係の変化や、地域の間人関係、地元意識が希薄になっている現代社会では、これらの持つ本来の機能が十分に果たされることが難しくなってきました。

そこで、生涯学習を通して、市民一人ひとりが主体的に地域づくりに参画し、自らの抱える課題と地域の課題を結び付け、その解決の方向へと転換を図る場として、(仮称)地域づくり学習センター（以下、地域づくりセンター）を設置します。

地域づくりセンターは、これまでの公民館機能を生かし、地域のコミュニティ機能を加えながら、市民活動、防災、まつり、子育てなどの多様な地域課題に取り組み、市民と行政が協働で解決していく仕組みと考えられます。

### 施策の方向

#### (1) ふれあいと交流の場づくり

地域づくりは、人と人とのふれあいと交流からはじまるものです。本市のコミュニティづくりでも、これまで以上に地域活動の中心になる人と人が結びつく空間を確保することが必要になってきます。

そこで、現在の公民館・生涯学習関係施設の役割を再認識し、市民の「ふれあいサロン」と位置付け、高齢者・障害のある人・若者などすべての市民が利用しやすくなるよう、各地区の施設運営にかかわる市民・利用団体代表者等と十分協議し、改善の努力を続けます。

また、市民からの情報の受発信に対応していく仕組みを構築していきます。



## (2) 地域課題解決にむけての学習の場

地域づくり学習センターの現状と課題から、地域における「人」や「活動」に着目しながら「人」をどのように生かすか、「人」と「地域の課題」をどのように結びつけるか、その仕組みを改めて考える必要がでてきました。

そこで、先の「ふれあいと交流の場づくり」とあわせ、従来の行政が課題と地域の課題を提起する方法から市民が主体的に参画し、自分たちの課題と地域の課題を結び付け、その解決の方向へと転換を図るための学習の場づくりとして「地域づくりセミナー」等の開催を検討します。

また、公民館・生涯学習関係職員の役割を地域の学習や活動をコーディネートすることと捉え、各種団体や組織が主体的に活動するための支援のあり方や事務の見直しを図ります。そして、社会教育主事等の専門職員のコーディネーターとしての資質や能力の向上を目指した研修を継続していきます。

## (3) 地域づくりの実践と地域組織の再編成

市内各地区の課題（高齢化・青少年・安全等）に対する学習は、「地域づくりセミナー」や石巻市民大学「まなび舎」の中で行われるものですが、そこで学んだことを実践し、社会還元する場として公民館・生涯学習関係施設が機能することが求められています。

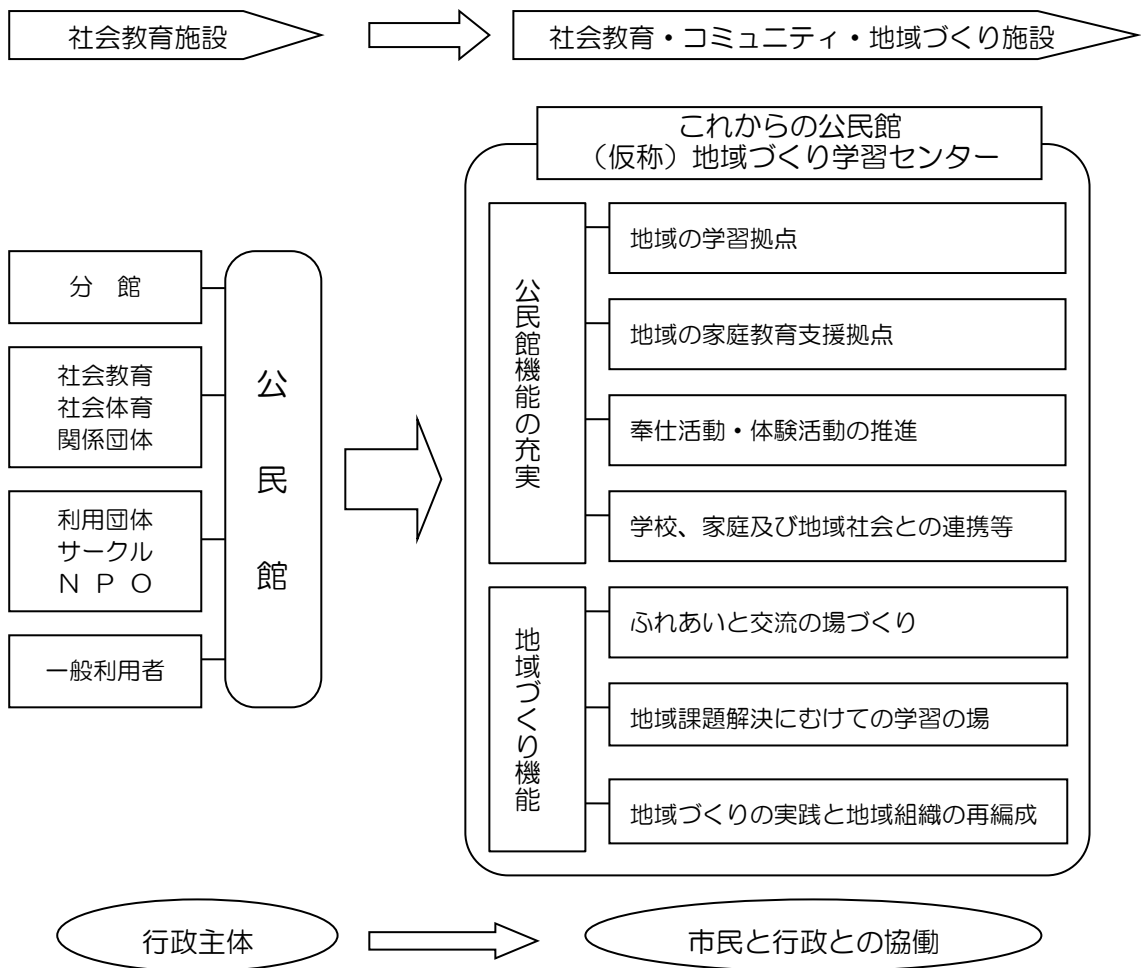
また、それらの課題はそれぞれ異なることが当然であり、取り組み方法も異なって当然ではありますが、そこに住む住民の同意形成とともに、市民と行政の協働が必要になります。

今後は、市民が地域課題を認識した上で主体的に取り組むこと、地域づくり会議や町内会というこれまでの組織を生かしながら、地域づくりセンターを核とした生涯学習による地域づくりの実践を広げていきます。

また、各組織が、それぞれの課題に単独では対応できない部分もあるという点を踏まえた上で、組織の総合化に向けた取組みを進めることが必要となります。

（1事業1組織から複合的な目標・目的をもった組織づくりへ）

この視点で、地域づくり学習センターでは、学習を基盤とした地域組織づくりを検討し、地区毎に生涯学習による地域づくりに取り組みます。市民がお互いに刺激しあい、主体的に地域づくりに取り組むことにより、公民館・生涯学習関係施設が自己実現とボランティア活動の場となるものと考えます。



### 3 いしのまき人財・地域創生会議

#### 施策展開の方針（基本構想）

石巻市における生涯学習推進の進捗状況の管理を行政、市民の協働で進めるため設置するものです。市民の力を最大限に活用し、行政、企業、NPOの力をいしのまき人財・地域創生会議の内部に蓄え、必要な仕組みを段階的に整備していきます。

#### 現状と課題

いしのまき人財・地域創生会議（以下、人財・地域創生会議）は、メンバーを基本的には公募し（各種団体の推薦枠もあり）、自主的な運営を目指すものです。生涯学習関係団体だけでなく、企業、NPO、学校などにも働き掛け、市民協働による生涯学習推進に向けた仕組みを目的として平成27年6月に設立しました。

今後は、多様な学びの機会の創出を通じて、次世代のまちづくりを担うリーダー人材を発掘、育成するとともに、地域の魅力を再発見し、地域課題の解決を図っていきます。

そのためには、生涯学習推進に関する人財・地域創生会議の提言を生かしながら、行政的立場から推進状況の確認を行い、理想的な支援のあり方を検討していきたいと考えます。

#### 施策の方向

##### （1）進捗状況に合わせた仕組みの整備

人財・地域創生会議の拡大を目指すとともに、メンバーの特性を生かした内部組織を立ち上げ、各委員会のメンバーを増やししながら、石巻市民大学「まなび舎」、（仮称）地域づくり学習センターなどの企画・運営に参画してもらいます。

当初考えられる内部組織としては、次のようなものが想定されます。

- ① 協働教育を継続、発展させていく協働教育研究会
- ② 石巻市民大学「まなび舎」の企画運営を担う市民大学事務局
- ③ （仮称）地域づくり学習センターの在り方を模索する（仮称）地域づくりセンター研究会
- ④ 生涯学習の推進状況を把握し、新たなプロジェクトを立ち上げていく各種委員会

仕組みの整備については、活動の広がりとともに段階的に随時見直しを行い、推進状況に見合った仕組みを整備していきます。

##### （2）市民と行政の協働による運営

人財・地域創生会議は基本的にボランティアによる運営を目指します。活動内容を公開し、市民の提案による開かれた活動を行います。

市民の出入りは自由であり、多くの市民の参加により、人財・地域創生会議の中から新たな協働の芽・活動が出てくることを歓迎します。行政も市の市民活動支援の方針に基づき、行政の果たす役割を自覚しながら市民の活動が生き生きと

展開されるような条件整備と協働スタイルの確立を目指します。

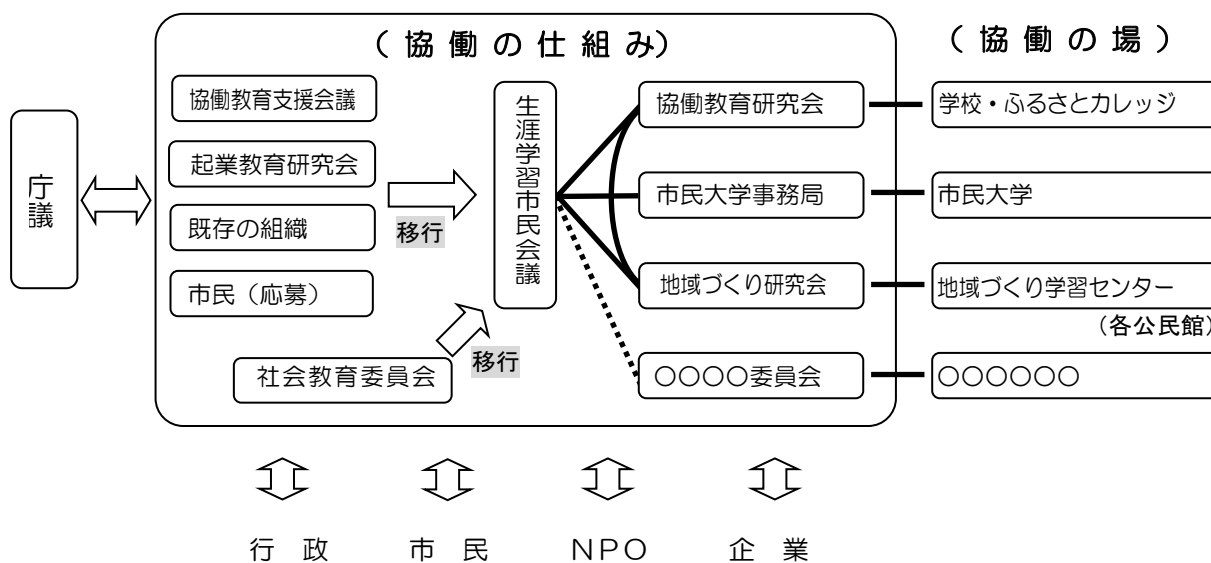
人財・地域創生会議の事務局は、生涯学習課が担いますが、市民活動の成長とともに市民サイドに移行していきます。

### (3) 地域づくり人材の育成

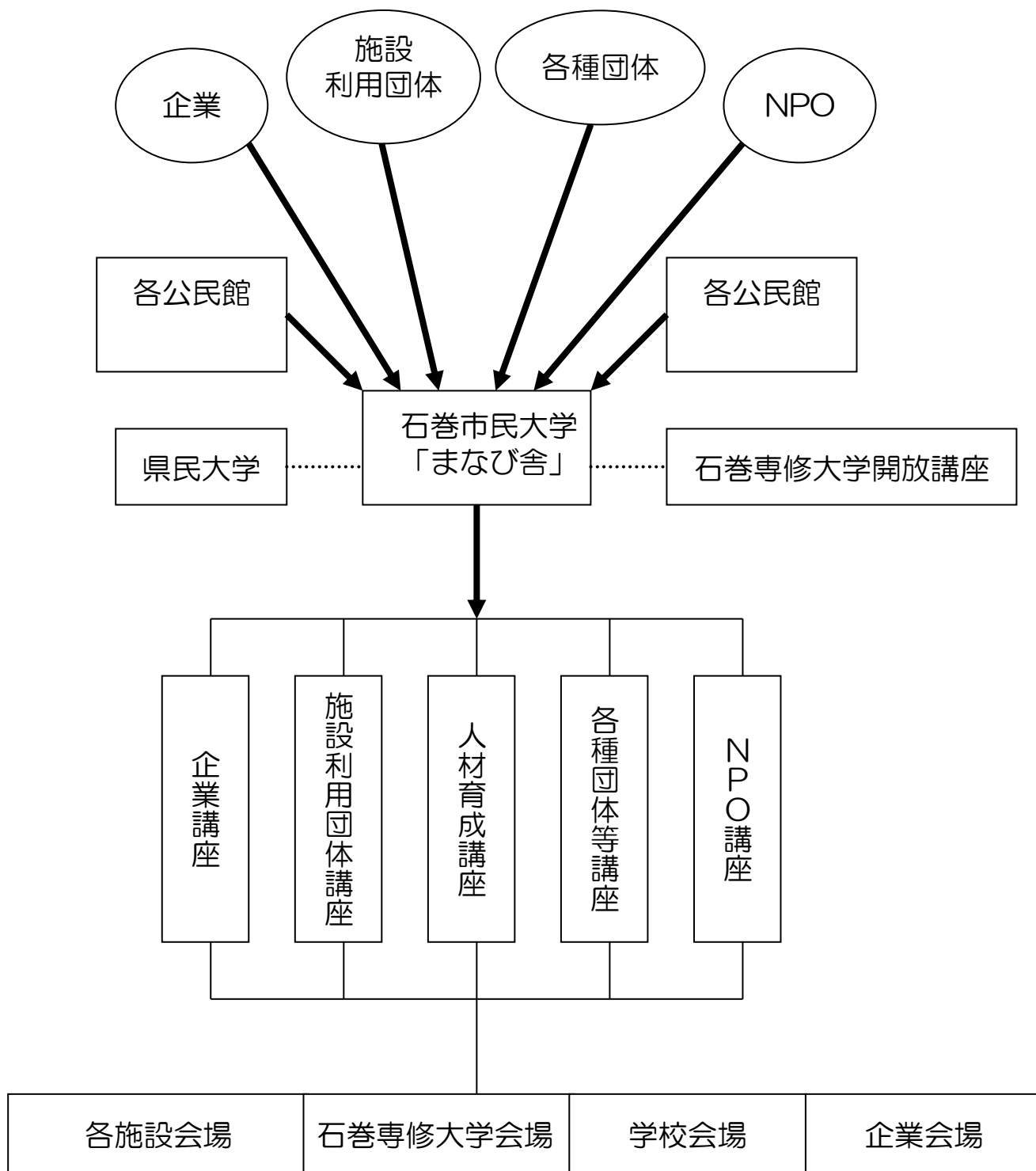
提案して終わりという参加の在り方を見直し、市民の皆さんには、提案したことは責任を持って実践してもらうことで、生涯学習としての学び、生かす、また学ぶ、そして生かす、という学びのサイクルを体験してもらいます。

実践を通して出される提案は、要望型の意見を越えて、市民としての自覚あるものとなり、自立した地域社会の構築を支える生涯学習という流れに沿うものと思われます。

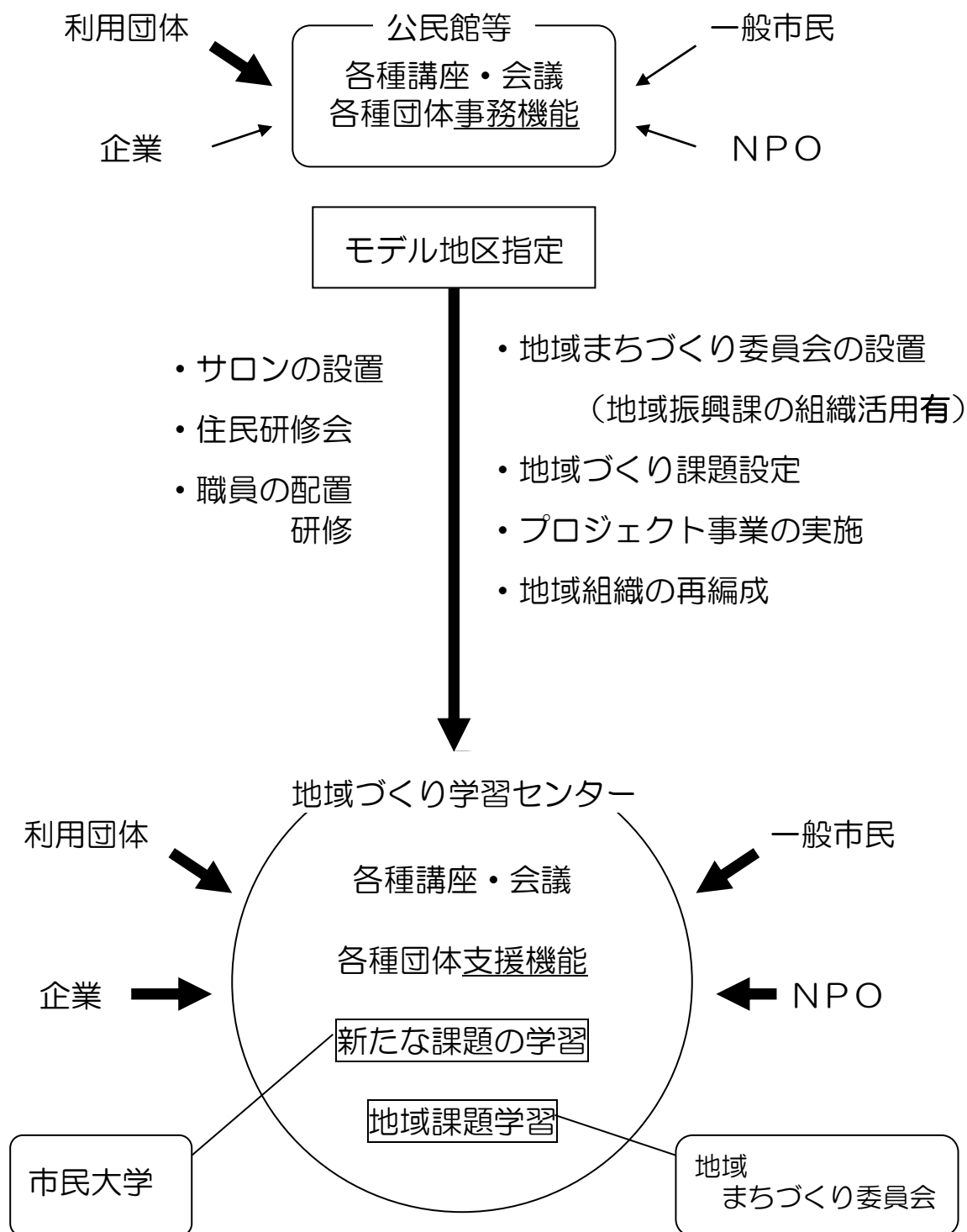
こうした、「考え行動する市民」を生み出す場として「人財・地域創生会議」を位置付けていきます。性差や年齢、職業などに関係なく、多くの市民が力を結集し、相互に刺激しながら、新たな活動を創造していく生涯学習の「市民の交流の場・サロン」を目指します。



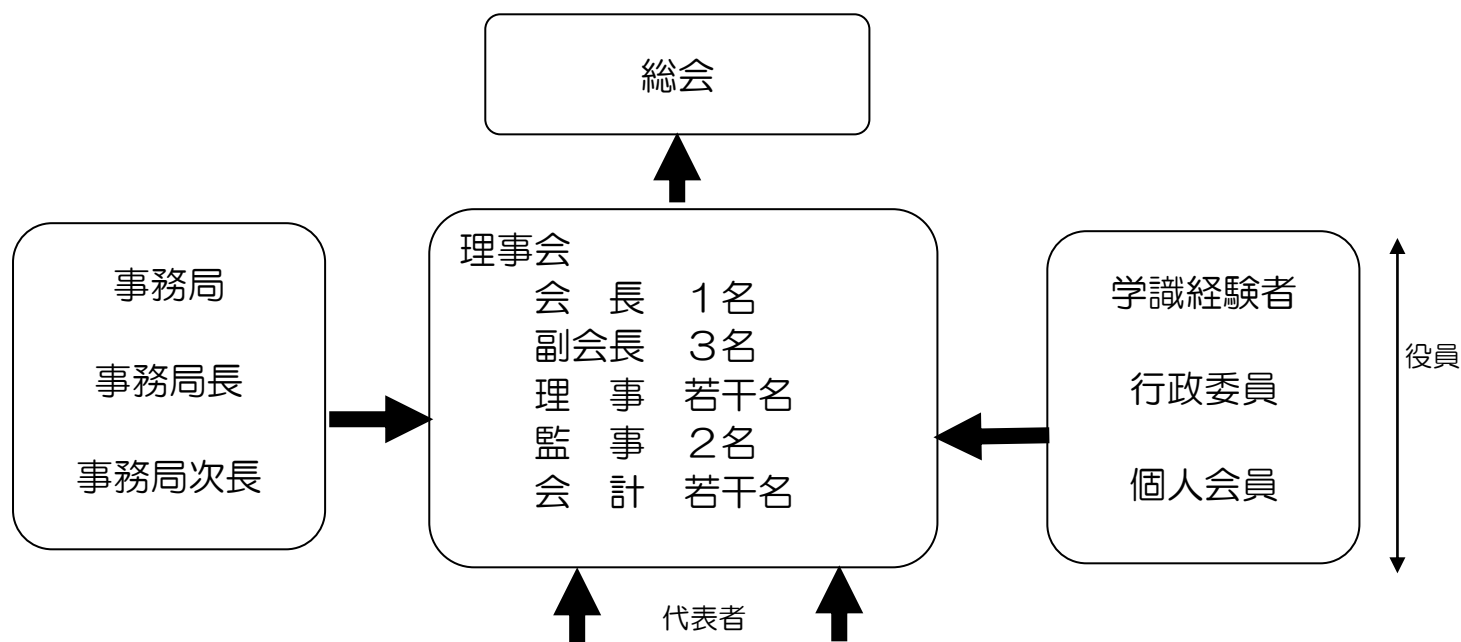
# 石巻市民大学「まなび舎」構想図



## (仮称) 地域づくり学習センター



## いしのまき人財・地域創生会議



### 石巻市民大学「まなび舎」

【各支部】

1. まなび舎中央支部（石巻中央公民館区）
2. まなび舎渡波支部（渡波公民館区）
3. まなび舎稲井支部（稲井公民館区）
4. まなび舎蛇田支部（蛇田公民館区）
5. まなび舎荻浜支部（荻浜公民館区）
6. まなび舎河北支部（河北公民館区）
7. まなび舎雄勝支部（雄勝公民館区）
8. まなび舎河南支部（河南公民館区）
9. まなび舎桃生支部（桃生公民館区）
10. まなび舎北上支部（北上公民館区）
11. まなび舎牡鹿支部（牡鹿公民館区）

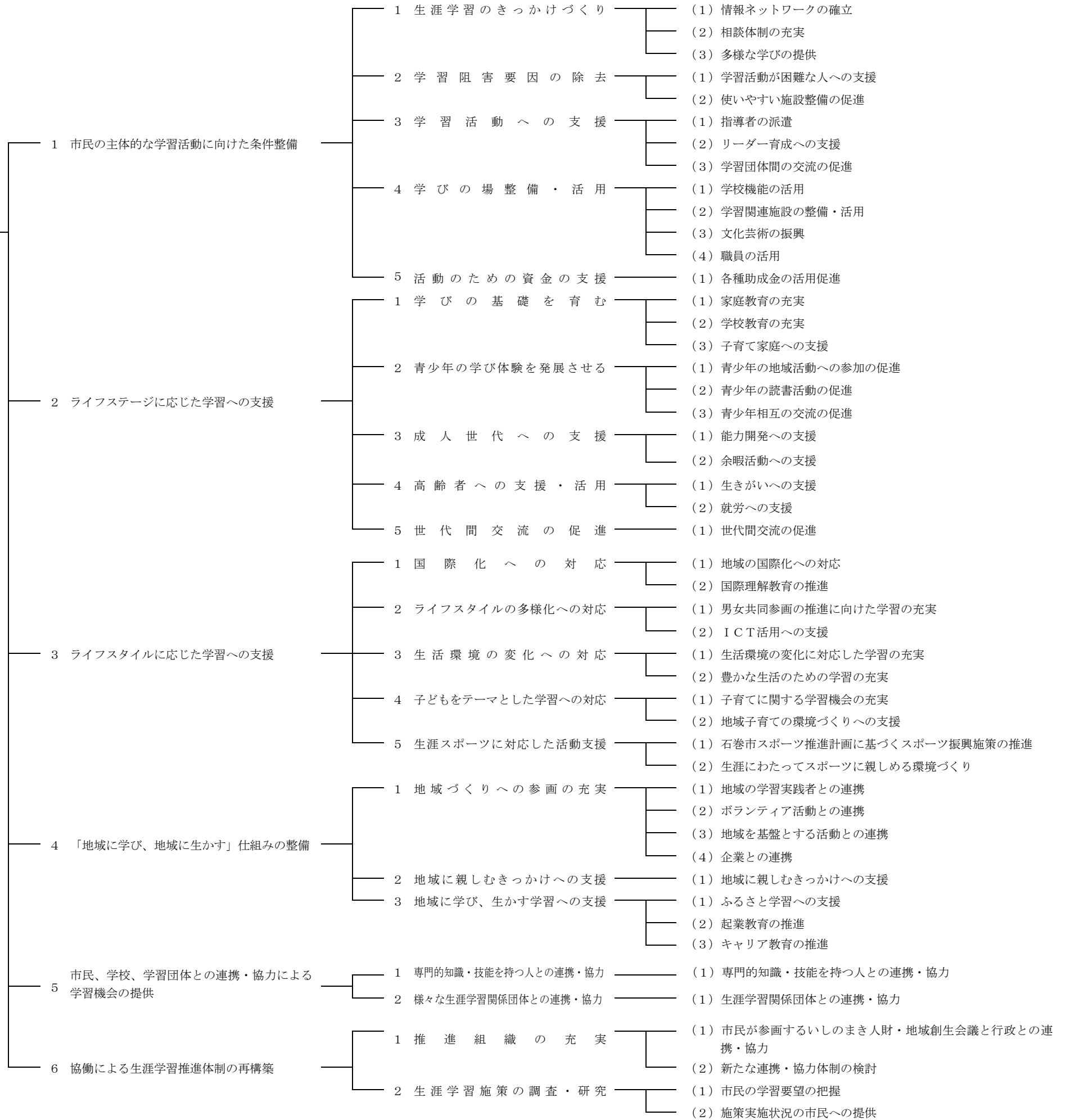
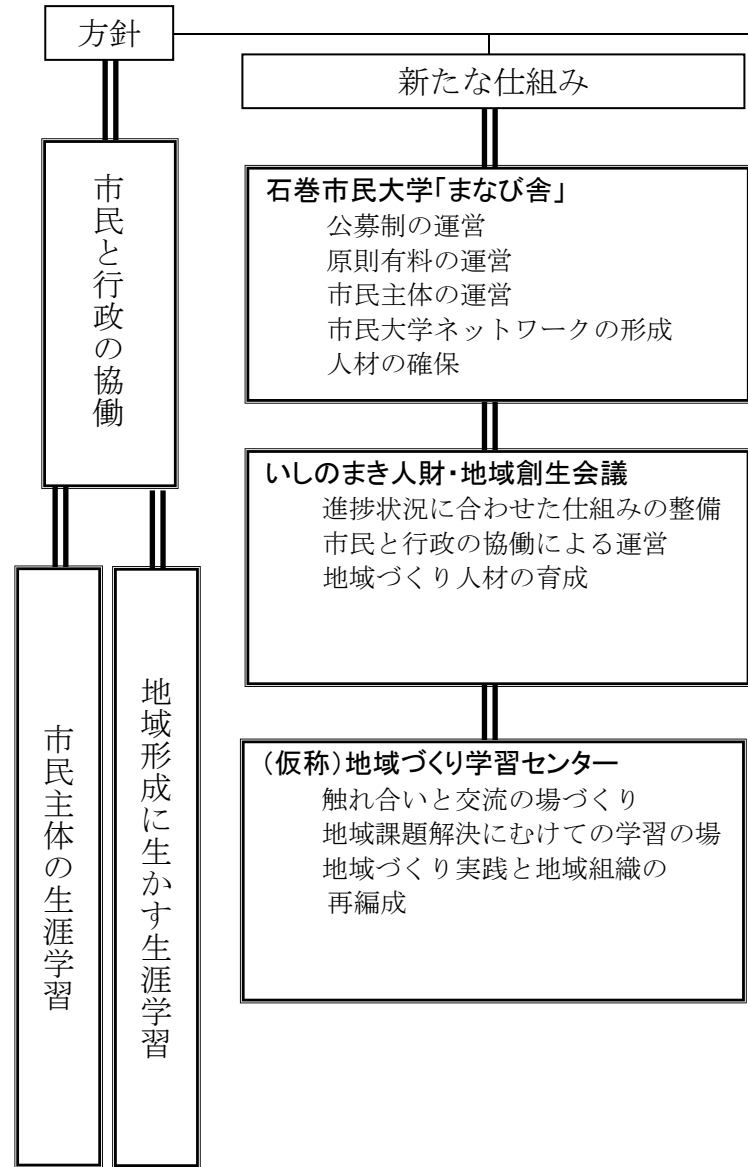
【ジャンル（学会）】

1. 文化芸術学会（文学、芸術、教育、趣味などに関する講座や教室）
2. まちづくり学会（まちづくりや地域の団体活動などに必要な知識や技能を習得するための講座）
3. 子育て学会（子育てや親の学び、家庭教育に関する教室や講座）
4. スポーツ健康学会（スポーツや健康に関する教室や講座）
5. 国際交流学会（国際交流や語学などに関する教室や講座）
6. 福祉学会（福祉やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座）
7. ユースアクション学会（子どもや若者向けの教室や講座または若者自らが主催する講座）

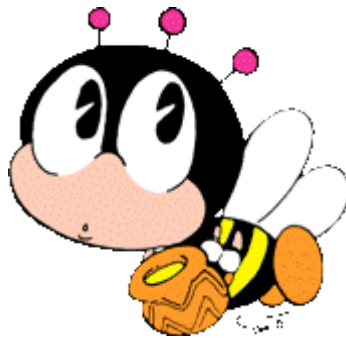
↑  
会員  
↓

# 石巻市生涯学習推進計画（図）

自分づくりがまちづくり  
学んで創ろう いしのまき







### ロゴマークについて

故石ノ森章太郎デザインの生涯学習のマスコットです。「学び」とミツバチの「Bee」を合わせ「マナビィ」と名づけられました。学ぶことが好きな「マナビィ」には「学」という字のように触角が3本あります。